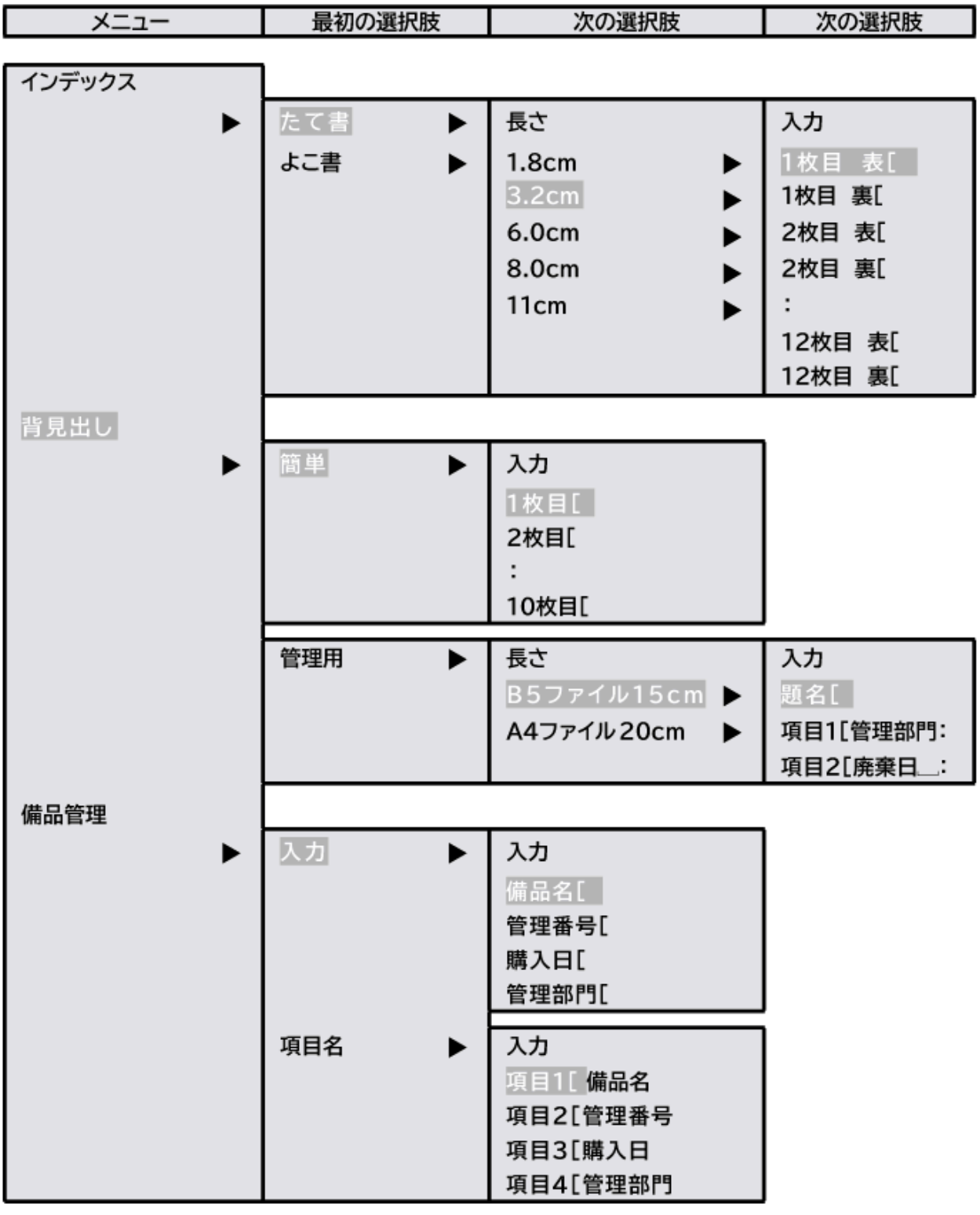
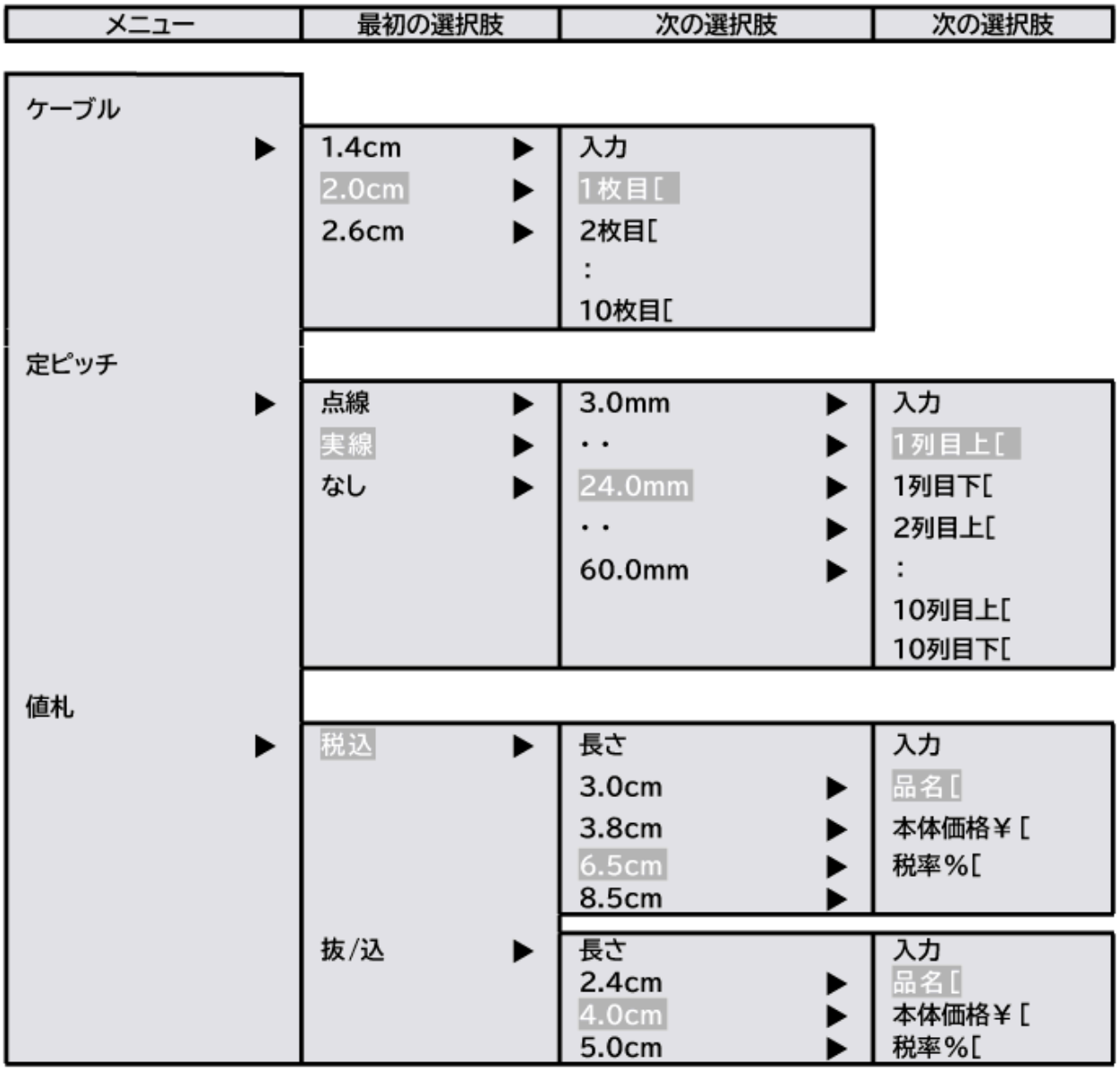
ビジネスフォームを使う

ビジネスフォームを使うと「ファイルの背見出し」や「備品管理」などビジネスでよく使う、決められたレイアウトのラベルを簡単に作ることができます。
フォームの種類によっては、異なる入力のラベルを複数枚まとめて作成できるので大変便利です。
本機では、「環境設定」の「おすすめフォーム」を表示するに設定されている場合、インデックスラベル・ケーブル表示ラベル・備品管理ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープに合ったフォームを表示します。

ビジネスフォームメニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

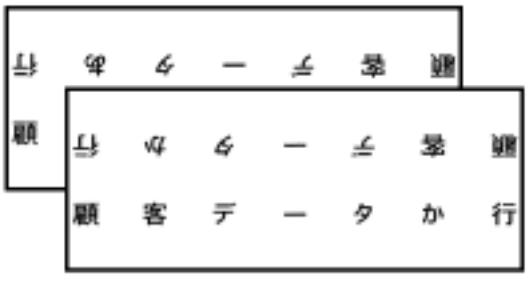

メニュー
最初の選択肢
次の選択肢
次の選択肢
インデックス
▶
たて書 ▶
よこ書 ▶
長さ
1.8cm ▶
3.2cm ▶
6.0cm ▶
8.0cm ▶
11cm ▶
入力
1枚目 表[
1枚目 裏[
2枚目 表[
2枚目 裏[
:
12枚目 表[
12枚目 裏[
背見出し
▶
簡単 ▶
入力
1枚目[
2枚目[
:
10枚目[
管理用 ▶
長さ
B5ファイル15cm ▶
A4ファイル20cm ▶
入力
題名[
項目1[管理部門:
項目2[廃棄日__:
備品管理
▶
入力 ▶
入力
備品名[
管理番号[
購入日[
管理部門[
項目名 ▶
入力
項目1[備品名
項目2[管理番号
項目3[購入日
項目4[管理部門


メニュー
最初の選択肢
次の選択肢
次の選択肢
ケーブル
▶
1.4cm ▶
2.0cm ▶
2.6cm ▶
入力
1枚目[
2枚目[
:
10枚目[
定ピッチ
▶
点線 ▶
実線 ▶
なし ▶
3.0mm ▶
・・ ▶
24.0mm ▶
・・ ▶
60.0mm ▶
入力
1列目上[
1列目下[
2列目上[
:
10列目上[
10列目下[
値札
▶
税込 ▶
長さ
3.0cm ▶
3.8cm ▶
6.5cm ▶
8.5cm ▶
入力
品名[
本体価格￥[
税率%[
抜/込 ▶
長さ
2.4cm ▶
4.0cm ▶
5.0cm ▶
入力
品名[
本体価格￥[
税率%[

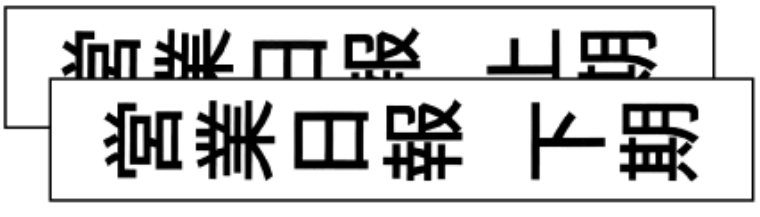
ビジネスフォーム見本

・インデックス(たて書・よこ書)
ラベルの真ん中を折って使うインデックスラベルを複数枚まとめて作成できます。

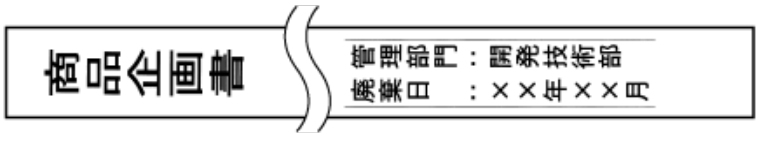




・背見出し(簡単)
「たて書き」で「1行」の背見出しラベルを複数枚まとめて作成できます。



・背見出し(管理用)
「題名」と「管理部門」「廃棄日」をきれいにレイアウトした背見出しラベルを作成できます。
「管理部門」「廃棄日」は別の項目に書き換えることもできます。



・備品管理
「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。
項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。



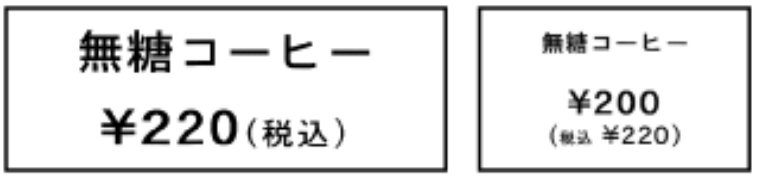
・ケーブル
ケーブルに巻き付けて表示するケーブルラベル(1行表示)を複数枚まとめて作成できます。
ケーブルは24mm幅のテープに対応しています。



・定ピッチ
固定ピッチのフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。



・値札(税込・抜/込)
値札ラベル用のフォームです。お使いになるテープ幅に合ったラベルの長さを選択したあと、本体価格と税率を入力することで、税込み価格を自動計算して表示します。
「値札(税込)」は9～24mm幅、「値札(抜/込)」は12～24mm幅のテープに対応しています。



ラベルの作りかた(ビジネスフォーム)

ビジネスフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

1 使用するフォームを決める

使いたいビジネスフォームを選んでください。

参照 「ビジネスフォーム見本」

2 フォーム を押す

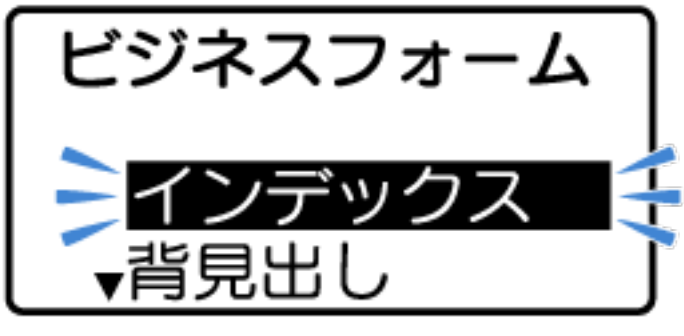
「フォーム」メニューが表示されます。

3 「ビジネスフォーム」を選ぶ



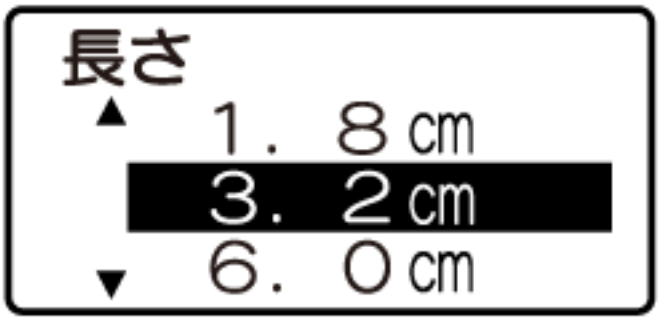
↑ ↓ でビジネスフォームを選び 選択 改行 を押します。

4 目的のフォーム名を選ぶ



フォーム名を選び、選択 改行 を押します。

5 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ



長さや入力項目の選択画面が表示されたフォームは、項目を選び、選択改行 を押します。
インデックスの場合は、「たて書」または「よこ書」を選択します。
背見出しの場合は、「簡単」または「管理用」を選択します。
備品管理の場合は、「入力」または「項目名」を選択します。
ケーブルの場合は、ラベル長さを選択します。
定ピッチの場合は、列ごとの区切り線を「点線」「実線」「なし」から選択します。
値札の場合は、「税込」または「抜／込」を選択します。

参照 ☞「ビジネスフォームメニュー一覧」

6 ガイドに従って文字を入力する



入力ガイドの後ろ(右側)にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。

注意

・入力画面にある「1枚目 表」「1枚目 裏」などの項目名は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。

MEMO

・シフト を押しながら 削除 取消 (＝全消去)を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出し・管理用および備品管理・項目名の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
・入力画面で 編集 を押すと、ラベルを装飾することができます。指定可能な機能は、「背見出し」「インデックス」「備品管理」「ケーブル」「定ピッチ」には飾り字、文字間、書体、伸・縮、囲・網、斜強調の6種類です。「値札」には編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能ですが、指定できるのはカーソルが品名にある場合に限ります。
・「値札」で入力できる本体価格は￥0～￥999,999です。また、入力できる税率は、0%～99%です。自動計算される税込価格は、小数点以下切り捨てで計算されます。

7 印刷する

参照 ☞「ラベルを印刷する」

注意

・ビジネスフォームのテキスト画面は、電源を切っても内容が保持されます。通常のテキスト画面に戻るには、フォーム を複数回押して画面を切り換える、または ホーム を押してください。
・ビジネスフォームで作成した文章は電源を切っても保持されていますが、ファイル登録はできません。
・ビジネスフォームの印刷は印刷履歴の対象になりません。

・長さを指定するビジネスフォームでは、指定した長さにおさまらない場合は「定長オーバー」が表示されます。削除 取消 を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま 選択 改行 または 印刷 を押すと、定長を解除して印刷します。
・ビジネスフォームでは、連続印刷は最大20枚までの対応となります。

デザインフォームを使う

本機にはオフィスや店舗、工場向けなどさまざまなシーンで使えるデザインフォームが登録されています。呼び出してそのまま印刷することもできますが、入力内容や装飾を変更して印刷することもできます。

デザインフォームメニュー一覧

　は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢		
施設 ▶	案内所	情報コーナー	病院
	救護所	警察	お手洗
	男子	女子	身障者用設備
	車椅子スロープ	ベビールーム	飲料水
	喫煙所	消火器	AED
	非常電話	非常ボタン	非常口
	広域避難場所	禁止	禁煙
	加熱式たばこ	火気厳禁	開放厳禁
	進入禁止	駐車禁止	自転車禁止
	立入禁止	かけ込み禁止	さわるな
	捨てるな	飲めない	携帯禁止
	電子機器禁止	撮影禁止	フラッシュ
	ドローン禁止	自撮り棒禁止	注意
	障害物注意	上り段差注意	下り段差注意
	滑面注意	転落注意	天井に注意
	感電注意	指示	静かに
	立つ(左側)	立つ(右側)	
オフィス ▶	紙補充	交換時期	PC電源
	リサイクル	紙節約	節水
	節電	エアコン	職場きれいに
	印刷面を上に	開放厳禁	本日休暇中
	可燃ごみ	不燃ごみ	精密機器
	天地無用	ワレモノ注意	お疲れ様です
	ほんの気持ち	社外秘	フォルダー山
	背見出し(縦)	背見出し(横)	回覧の確認
	備品管理票	QR備品管理票	
お店 ▶	お会計	カード支払い	現金払い
	伝票をレジに	先に食券を	おつり忘れず
	呼び鈴	食器返却口	店内禁煙
	禁煙席	喫煙席	離席中
	包装無料	配送無料	充電コーナー
	Wi－Fi	携帯電話禁止	飲食禁止
	防犯カメラ	並ぶ	ご覧ください
	両替	レシート不要	触れないで
	ペット禁止	自動照明	トイレ洗浄
	トイレ清潔に	故障中	年中無休
	新商品	店長おすすめ	入荷待ち
	係員	警備員巡回中	パンフレット

メニュー	最初の選択肢		
建設 ▶	保護帽着用	安全帯着用	手袋着用
	安全靴着用	保護メガネ着用	マスク着用
	開口部注意	滑面注意	段差注意
	頭上注意	落下物注意	感電注意
	ドア注意	立ち入り禁止	5S運動
	安全規則	指差呼称	血液型ラベル
	作業中		
工場 ▶	安全第一	整理整頓	救急箱
	高温部注意	巻き込み注意	切断注意
	指挟まれ注意	感電注意	回転部注意
	有毒ガス注意	噴射注意	濡れ手禁止
	接触禁止	火気厳禁	アース線接地
	スイッチ禁止	物を置かない	現場を離れる
	安全確認	ミス防止	手順確認
	土足厳禁	責任者ラベル	使用禁止
	点検中		
病院 ▶	診察中	待合室	保険証提示
	診察券入れ	必要事項記入	会計窓口提出
	荷物はこちら	手指消毒	マスク着用
	緊急ボタン	電子機器禁止	医療廃棄物
お名前 ▶	オフィス名札	住所・氏名	学校持ち物
	店舗名札		

MEMO

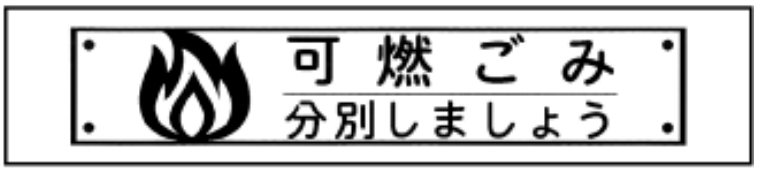
・ラベルのデザインは、下記ページを参照してください。

参照 ☞「デザインフォーム一覧表」

・「回覧の確認」は上質紙ラベル、マットラベルで印刷することをおすすめします。

ラベルの作りかた(デザインフォーム)

デザインフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。
例:「可燃ごみ」のラベル



1 使用するデザインフォームを決める

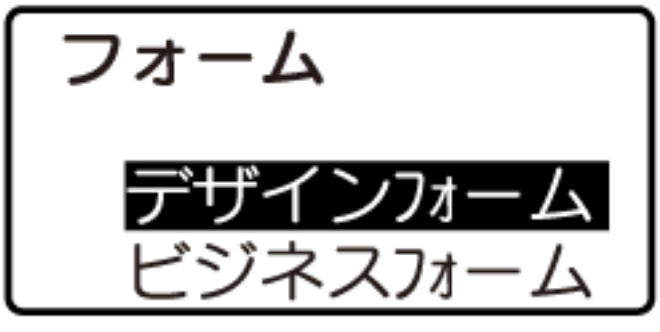
使いたいデザインフォームを選んでください。

参照 「デザインフォーム一覧表」

2 フォーム を押す

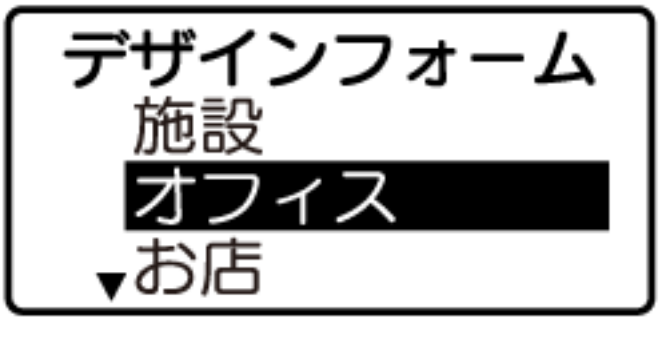
「フォーム」メニューが表示されます。

3 「デザインフォーム」を選ぶ



↑ ↓ でデザインフォームを選び、選択 改行 を押します。

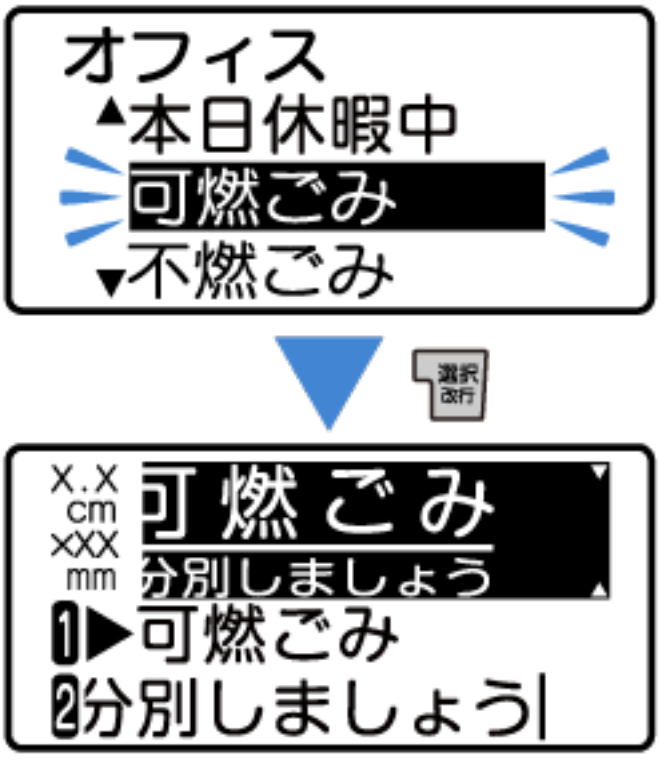
4 デザインフォームの分類を選ぶ



↑ ↓ で目的のデザインフォームが含まれる分類を選び、選択 改行 を押します。

選択肢を指定する画面になります。

5 使用するデザインフォームを指定する



↑ ↓ で目的のデザインフォーム名を選び、選択 改行 を押します。

注意

・デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照 ☞「ファイルを登録する」

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

6 内容を修正する

呼び出したデザインフォームの内容を修正したい場合には、必要に応じて文字や記号を削除して内容を変更します。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。
・デザインフォームで指定されている編集機能の指定は変更できます。

7 印刷する

参照 ☞「ラベルを印刷する」

文章を呼び出す・登録する(ファイル)

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルメニュー一覧

ファイル のメニュー一覧(登録 は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能
あて名 ▶	修正	登録したあて名を修正します
	登録	あて名を登録します
	消去	登録したあて名を消去します
	複写	登録したあて名を複写します
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します
ファイル ▶	呼出	登録した文章を呼び出します
	登録	作成した文章を保存します
	消去	登録した文章を消去します
名前 ▶	登録	名前を登録します
	修正	登録した名前を修正します
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します
	消去	登録した名前を消去します
辞書 ▶	登録	辞書を登録します
	消去	登録した辞書を消去します

MEMO

・ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字(最大で99個のファイル、ファイル名を含む)を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
・データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

注意

・大切なファイルやあて名、外字のデータは、データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、PCにバックアップすることをおすすめします。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号01～99（99件）の中から番号を選んで登録します。

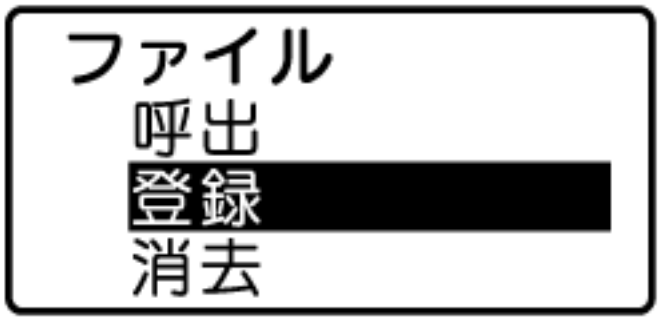
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

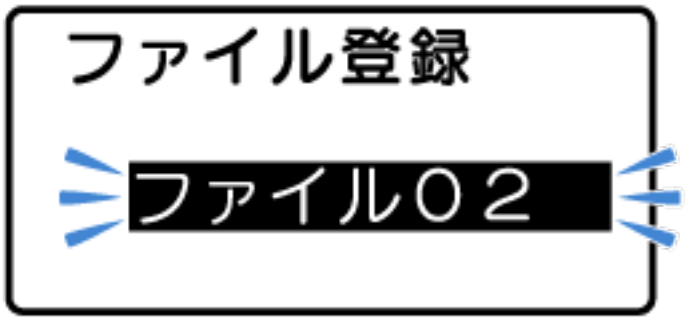
2 「ファイル」を選び、 選択 改行 を押す



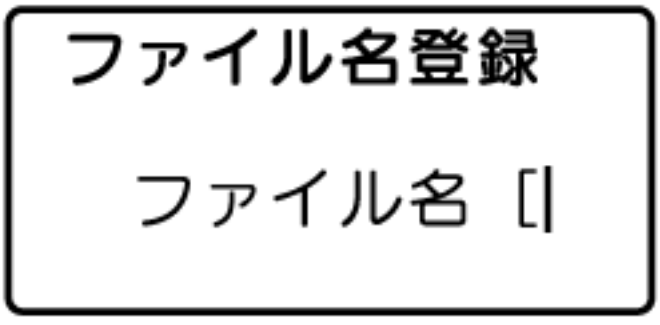
3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 ファイル名を入力し、 選択改行 を押す



15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

6 内容を確認し、 選択改行 を押す



「登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。
・ファイル登録の際、既存のファイルを上書きして登録することはできません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・ファイルは99件まで登録できます。
・データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
・本機には、約5,000文字(最大で99個のファイル、ファイル名を含む)を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
・ビジネスフォームの文章は登録できません。

ファイルを呼び出す

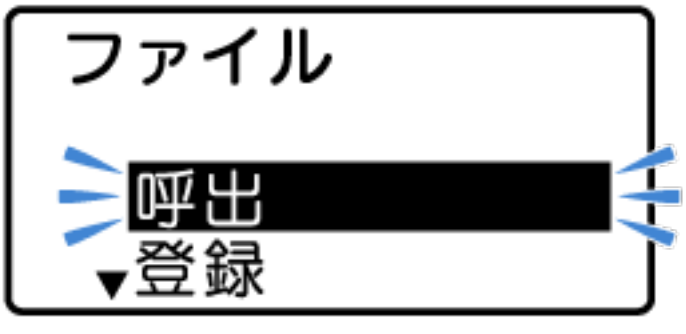
現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出し」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出し」があります。
「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面の文章は全文消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出し」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

1 [ファイル] を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

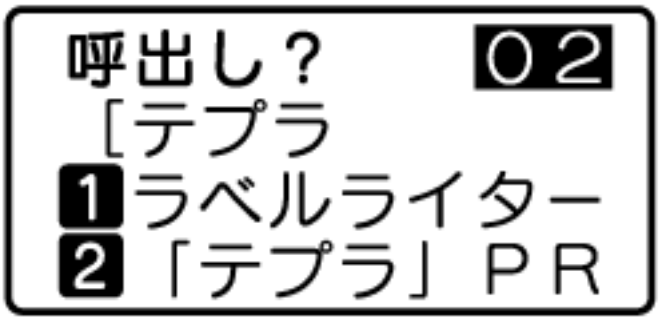
2 「ファイル」を選び、 [選択 改行] を押す



3 「呼出」を選び、 [選択 改行] を押す



4 [↑] [↓] で番号を選び、 [選択 改行] を押す

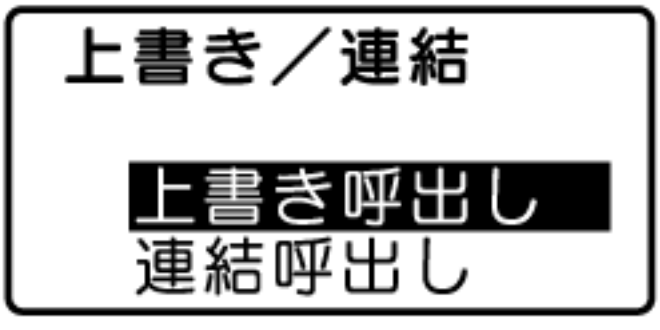


5 内容を確認し、 選択改行 を押す



← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

6 「上書き呼出し」「連結呼出し」のいずれかを選び、 選択改行 を押す



文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

注意

・「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
・「連結呼出し」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
・入力できる文章は約175文字です。

MEMO

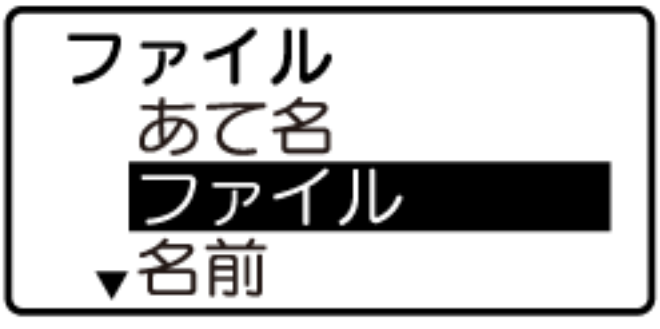
・仮確定文字があるときは操作できません。
・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順 4 ）。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順 5 で文章が呼び出されます。

ファイルを消去する

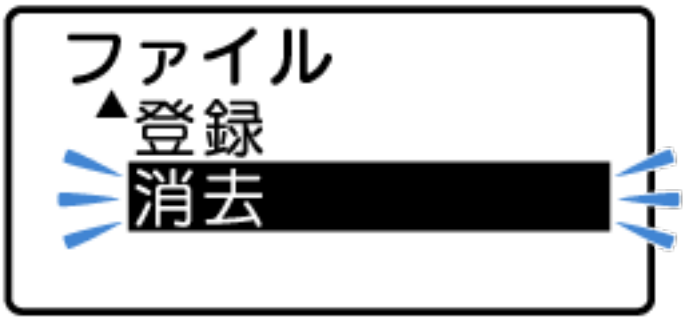
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

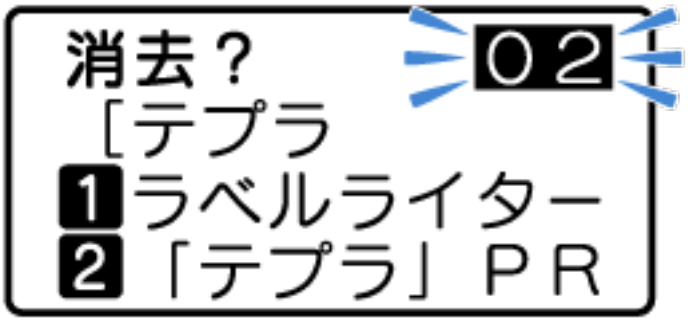
2 「ファイル」を選び、 選択 改行 を押す



3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

ファイルが消去されます。

注意

・消去したファイルは復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくと、決められたレイアウトのあて名ラベルをまとめて印刷できます。

登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸　正樹	20文字
〒 (カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字(最大99件のあて名)です。

注意

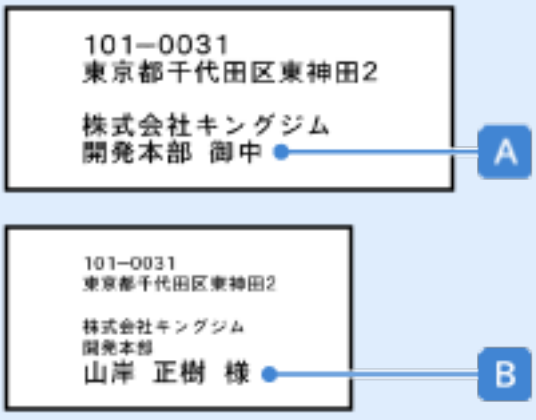
・郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2026年1月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

MEMO

・あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

A ・・・氏名入力なし:「御中」が付きます

B ・・・氏名入力あり:「様」が付きます

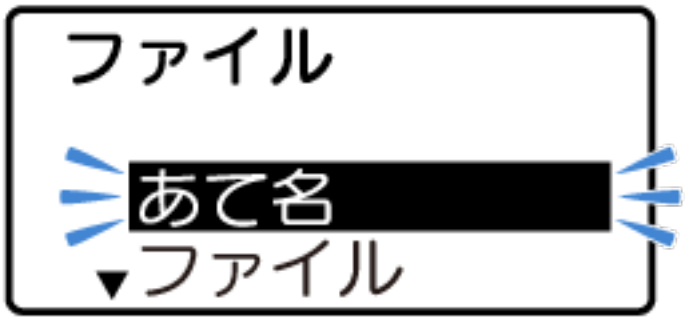

101−0031
東京都千代田区東神田2
株式会社キングジム
開発本部 御中
A
101−0031
東京都千代田区東神田2
株式会社キングジム
開発本部
山岸 正樹 様
B

あて名を登録する

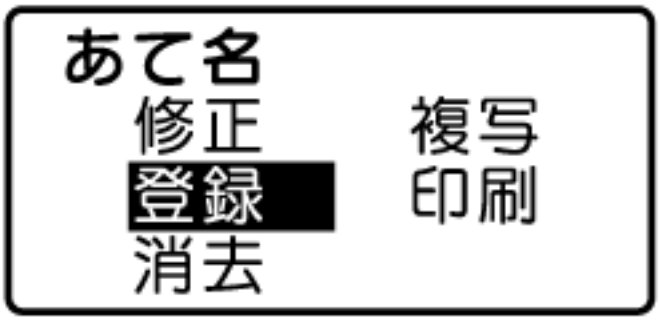
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

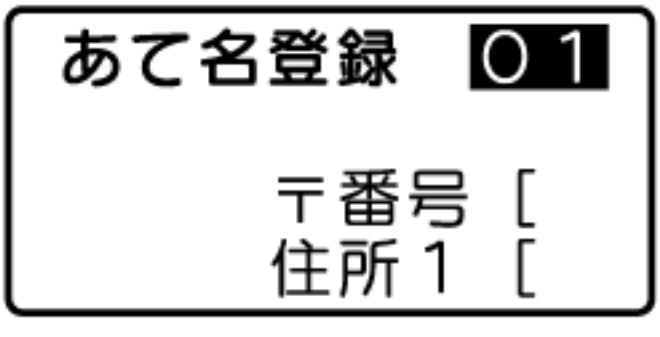
2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 郵便番号を入力する



4桁目を入力すると、自動的にハイフン(－)が挿入されます。

6 変換 スペース を押す

郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

7 地名が正しいときは、 選択 改行 を押す

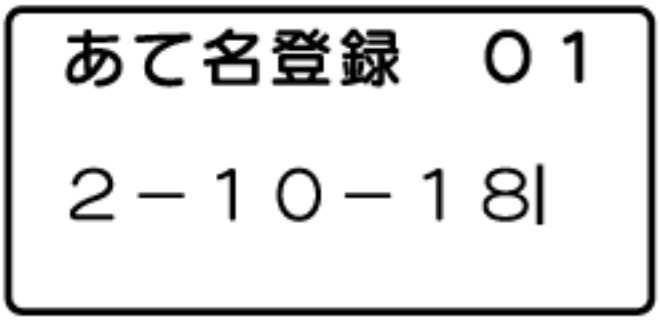


地名が違うときは、← ↑ ↓ → で適切な地名を選びます。

8 住所1を入力し、 選択 改行 を押す

9 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、 選択 改行 を押す

10 必要に応じてカスタマバーコードを入力する



カスタマバーコードの項目で 変換 スペース を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。

続けて住所部分を入力します。

参照 ☞「カスタマバーコードについて」

11 全項目入力後、 選択 改行 を押す

「登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

・未入力の項目があっても登録できます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・項目入力中に 選択 改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択 改行 を押すと、あて名を登録できます。
・操作を途中でやめるときは 削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

あて名を修正する

1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

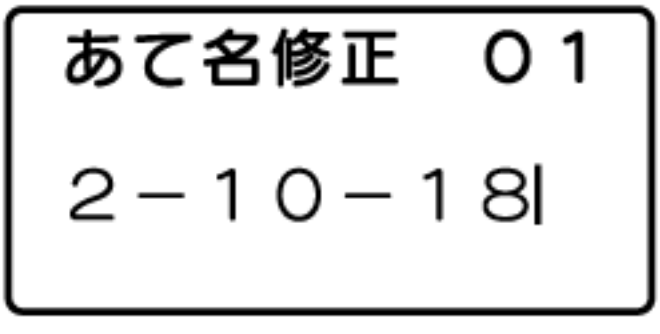
3 「修正」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を修正し 選択 改行 を押す



カスタマバーコードの項目で 選択 改行 を押すと、「修正実行」と表示されます。

注意

・カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

MEMO

・項目入力中に 選択 改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択 改行 を押すと、あて名を登録できます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

あて名を消去する

1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

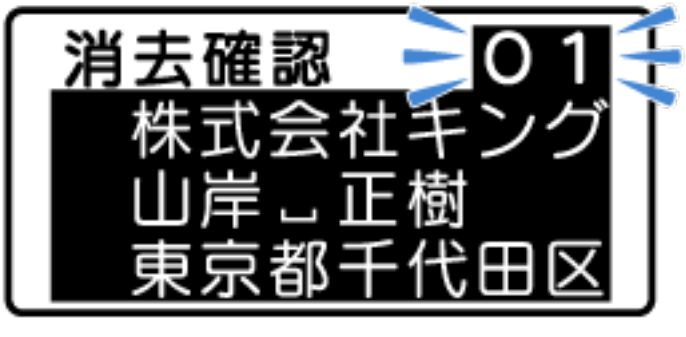
3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。

あて名が消去されます。

注意

・消去したあて名は復活できません。

・カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

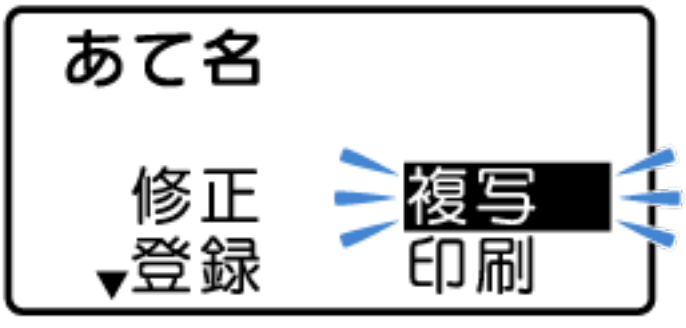
あて名を複写する

1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

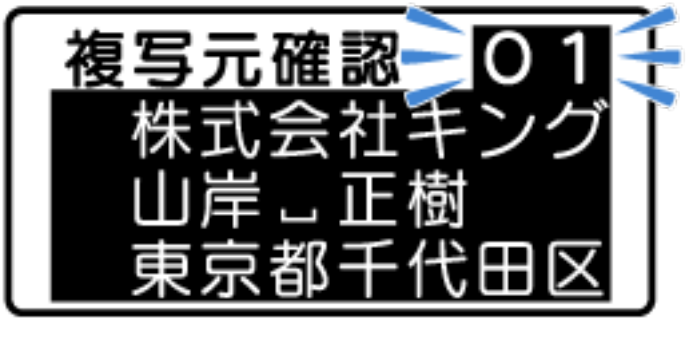
3 「複写」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で複写元の番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。

6 ↑ ↓ で複写先の番号を選び、 選択 改行 を押す



7 内容を確認し、 選択 改行 を押す



あて名が複写されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは 削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

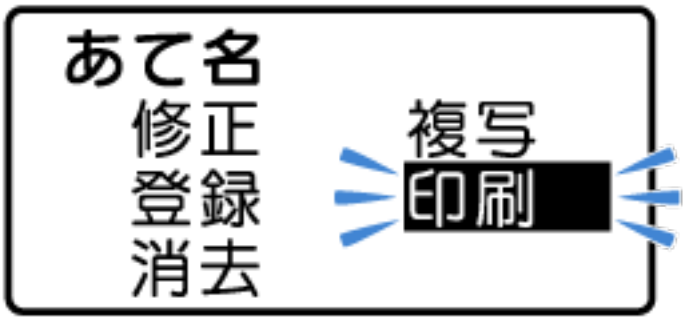
あて名ラベルを印刷する

1 ファイル を押す

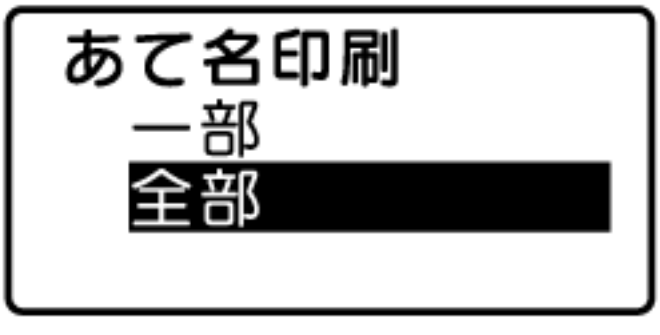
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

3 「印刷」を選び、 選択 改行 を押す



4 印刷する範囲を選び、 選択 改行 を押す



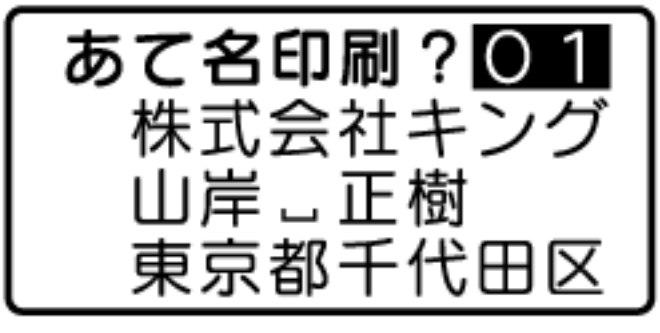
一部：1件のみ印刷

全部：すべてを印刷

「全部」を選んだ場合は、印刷がはじまります。

「一部」の場合は次の手順であて名を選びます。

5 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



あて名が印刷されます。

MEMO

・あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます（手順 5 ）。
・操作を途中でやめるときは 削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。
本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

・「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
・「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用いただけます。
・「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード(〒)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例:
千葉県鎌ヶ谷市右京塚
東3丁目20-5　鈴木・A&bコーポB604号

1 住所データを次のAとBの部分に分割する

住所A:「郵便番号」で指定される町域名まで

住所B:町域名以降の住所

2 住所Aを郵便番号に置き換える

(「-」(ハイフン)は省略)

3 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える

4 データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める

「&」(アンパサンド)「／」(スラッシュ)「・」(中黒)「.」(ピリオド)

5 3 および 4 で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す

6 抜き出された文字の前にある下記の文字などは、ハイフン1文字に置き換える

「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

7 6 の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる

8 先頭がハイフンの場合は取り除く

9 アルファベットの前後にあるハイフンを取り除く

10 2 で処理したデータに 9 で処理したデータをつなげる



カスタマバーコードの記入例

■記入例①

漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例: 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー601
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:十一丁目六番地一号永井タワー601
バーコード[xxxxxxx11-6-1-601

例: 北海道帯広市稲田町南七線西28

郵便番号:xxx-xxxx
住所B:七線西28
バーコード[xxxxxxx7-28

■記入例②

連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」(ビルなどの階数表示の略)については指定しません。
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例: 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6丁目7-14ABCビル2F
バーコード[xxxxxxx6-7-14-2

例: 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F201号室

郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6丁目7-14ABCビル2F201号室
バーコード[xxxxxxx6-7-14-2-201

■記入例③

アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例: 神戸市中央区港島中町9丁目7-6
南シティA棟1F1号
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:9丁目7-6南シティA棟1F1号
バーコード[xxxxxxx9-7-6A1-1

例: 京都府綾部市青野町綾部6-7
LプラザB106
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6-7 LプラザB106
バーコード[xxxxxxx6-7LB106

■記入例④

バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

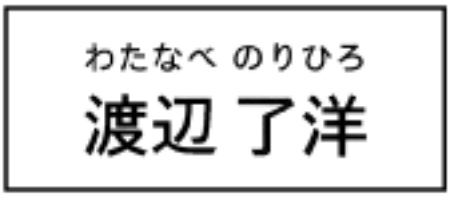
例: 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23
第2山瀬ハウス501
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:29丁目1524-23第2山瀬ハウス
501
バーコード[xxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

・本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

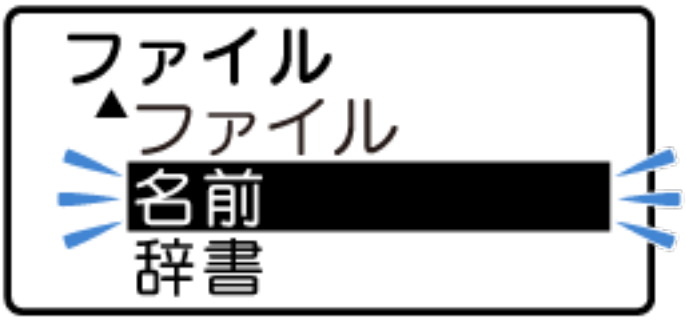
名前データを登録します。名前は名前番号01～40(40件)の番号に順に登録します。
名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。



1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

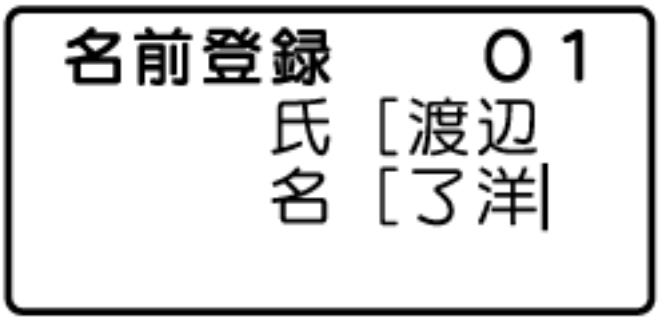
2 「名前」を選び、 選択改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択改行 を押す

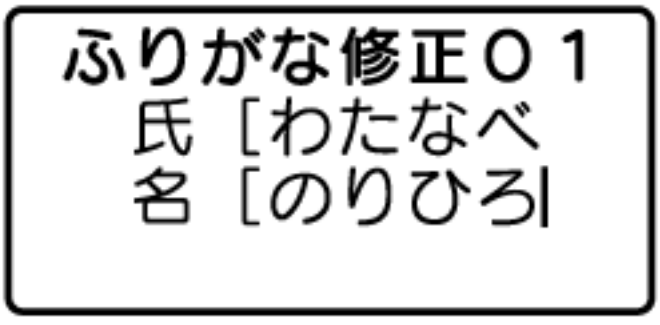


4 名前(氏と名)を入力し、 選択改行 を押す



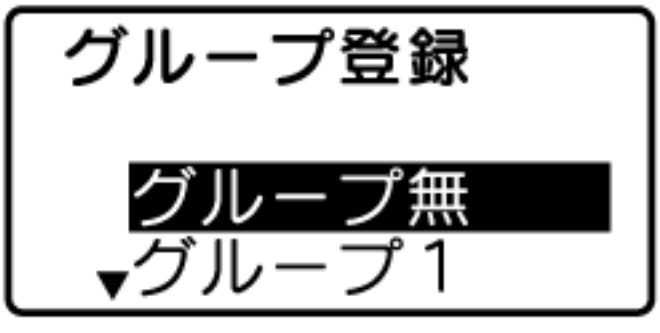
各7文字まで入力できます。

5 ふりがなを確認し、 選択改行 を押す



必要に応じてふりがなを修正します。

6 登録するグループを選び、 選択改行 を押す



グループに登録しない場合は「グループ無」を選びます。

7 内容を確認し、 選択改行 を押す



「名前登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

名前を修正する

1 ファイル を押す

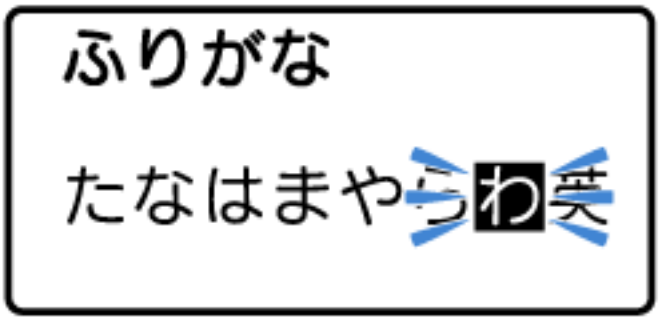
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「修正」を選び、 選択 改行 を押す

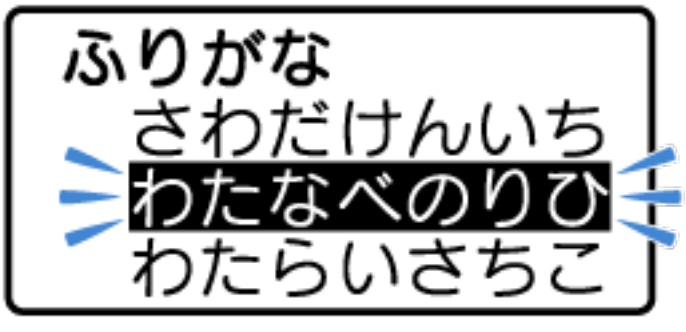


4 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

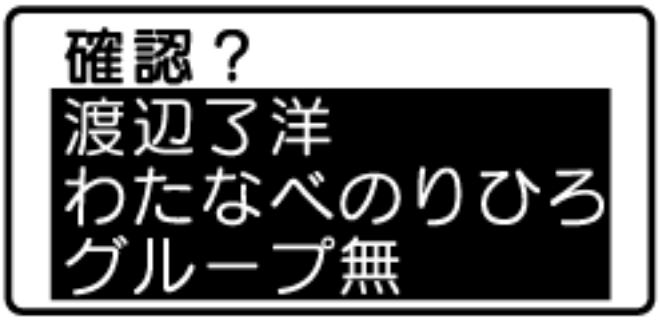


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

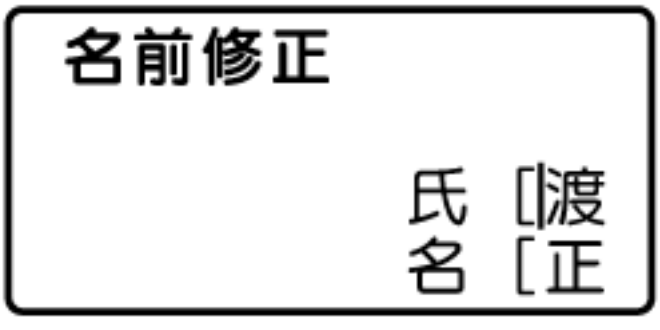
5 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



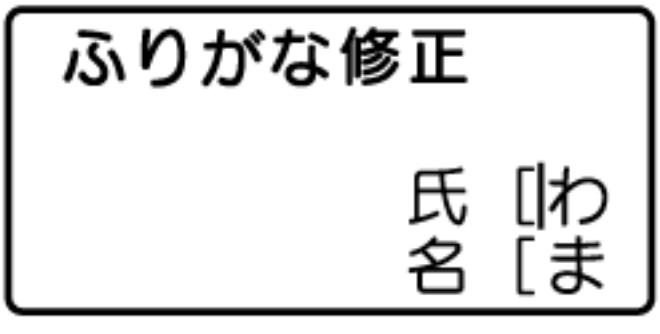
6 内容を確認し、 選択 改行 を押す



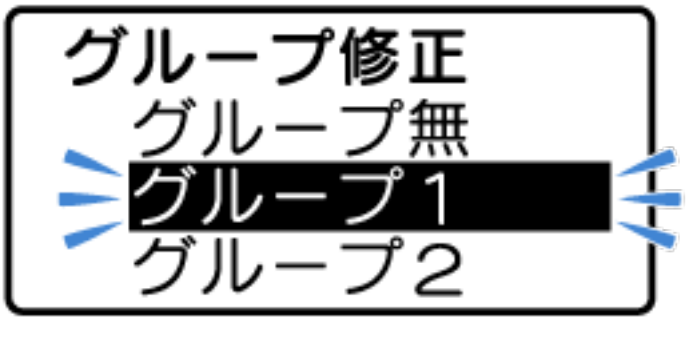
7 名前を修正し、 選択 改行 を押す



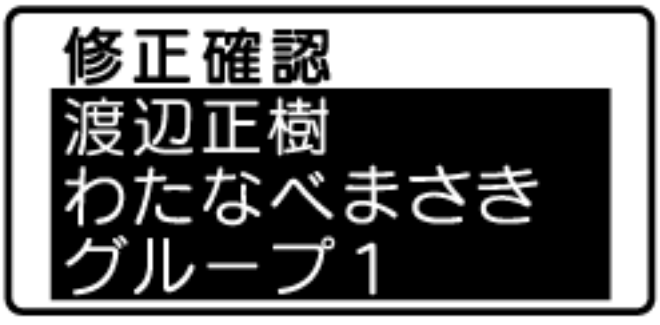
8 ふりがなを修正し、 選択 改行 を押す



9 グループを修正し、 選択 改行 を押す



10 内容を確認し、 選択改行 を押す



「名前修正実行」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

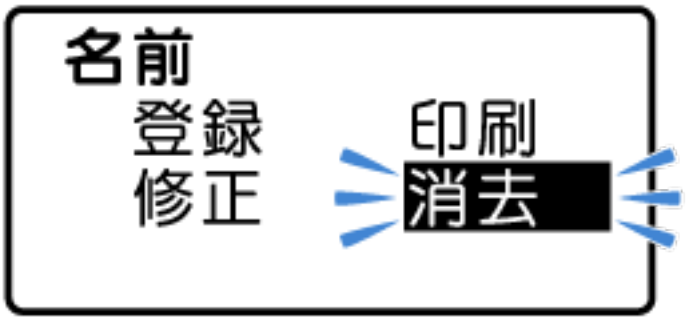
名前を消去する

1 ファイル を押す

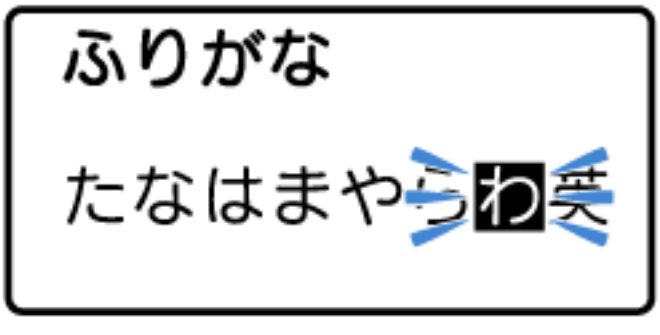
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す

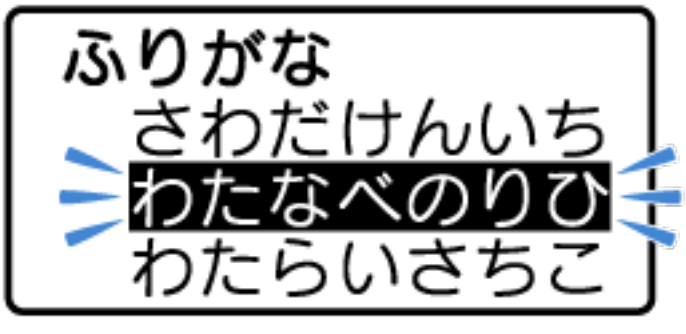


4 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

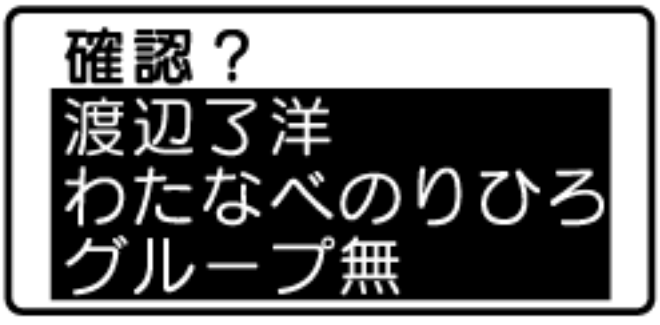


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

5 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



6 内容を確認し、 選択 改行 を押す



7 消去を確認し、 選択 改行 を押す



名前が消去されます。

注意

・消去した名前は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。

1 ファイル を押す

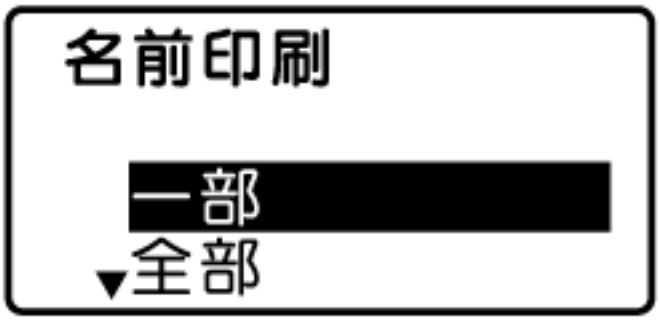
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「印刷」を選び、 選択 改行 を押す



4 印刷する範囲を選び、 選択 改行 を押す



一部:1件のみ印刷

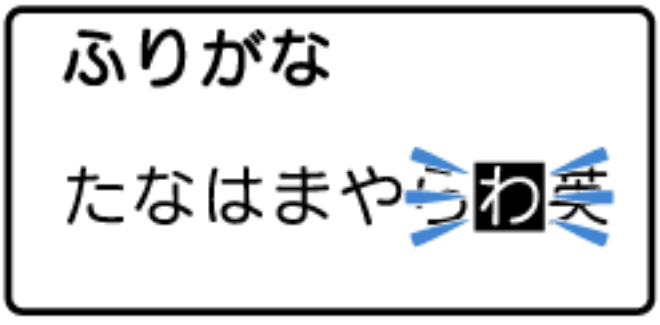
全部:すべての名前を印刷

グループ1/2:選択したグループ内のすべての名前を印刷

「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります(手順 8)。

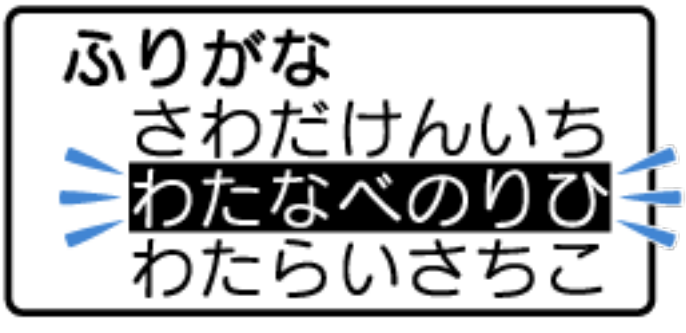
「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

5 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

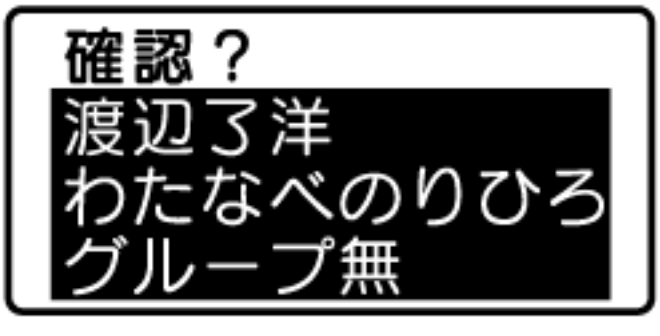


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

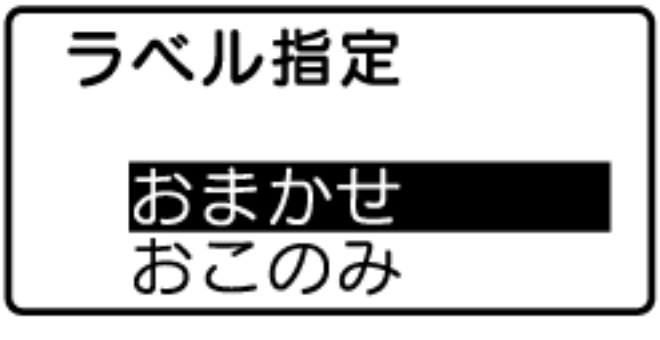
6 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



7 内容を確認し、 選択 改行 を押す

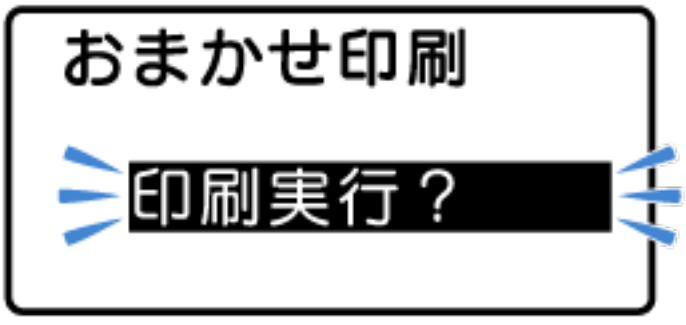


8 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 選択 改行 を押す



「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。

9 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



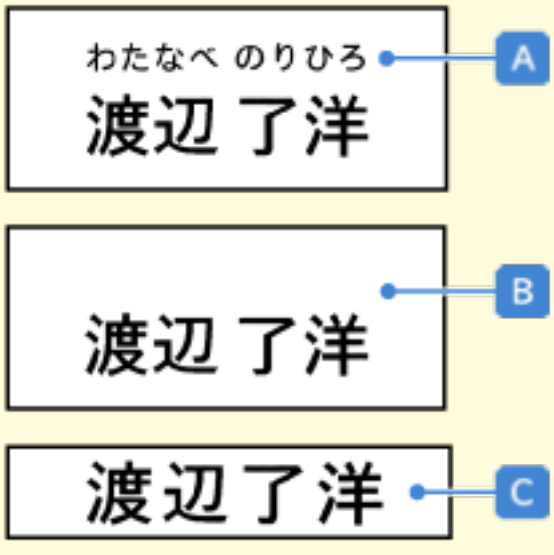
名前ラベルが印刷されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

注意

・4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。
A ・・・9mm幅テープ(「ふりがな」あり)
B ・・・9mm幅テープ(「ふりがな」なし)
C ・・・4mm幅テープ

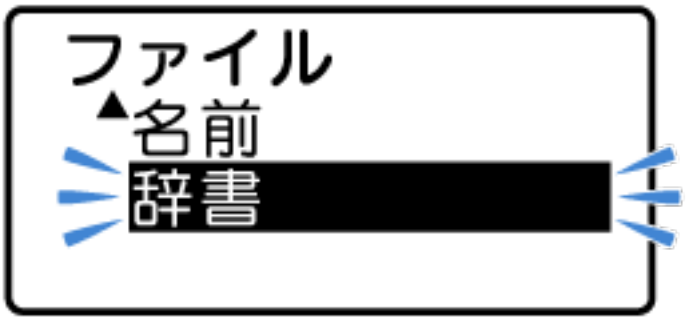


変換できない語句を登録する(辞書の登録)

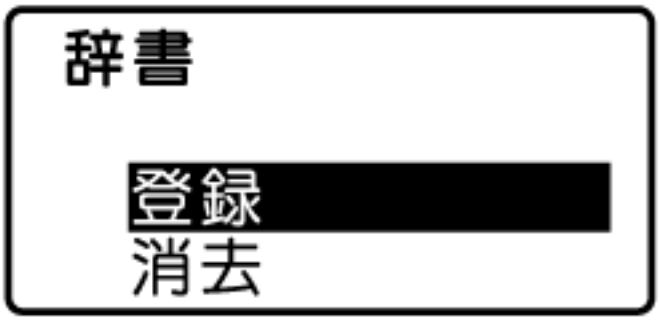
難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。
例:「特許出願書(とっきょしゅつ)」を登録する

1 [ファイル] を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

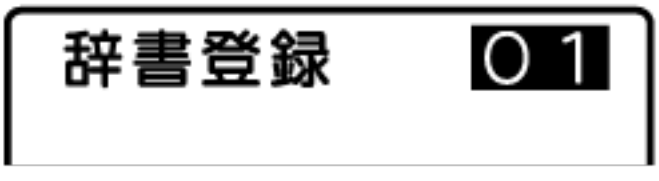
2 「辞書」を選び、[選択 改行] を押す



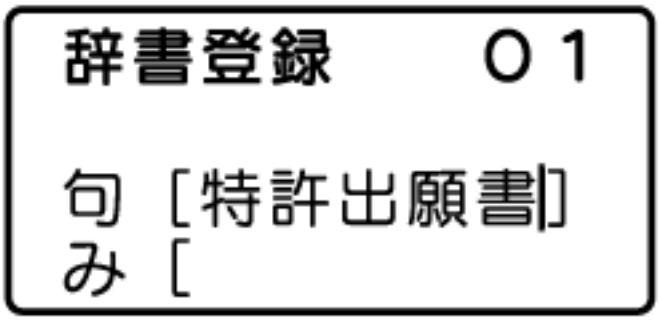
3 「登録」を選び、[選択 改行] を押す



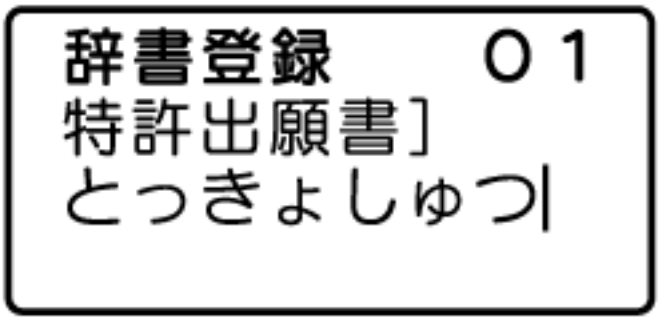
4 [↑] [↓] で番号を選び、[選択 改行] を押す



5 語句を入力し、 選択改行 を押す



6 読みをひらがなで入力し、 選択改行 を押す



「読み」はひらがなのみ入力できます。

語句が登録されます。

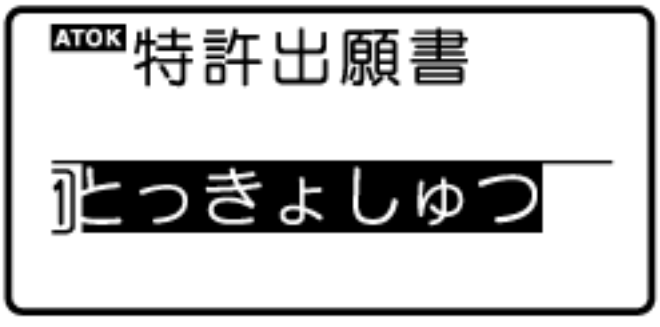
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
・登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとすると、「辞書に登録済みの語句です」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
・辞書には漢字だけでなく、記号、外字、絵文字、英数字、英記号も登録できます。
・辞書登録ではイラスト、連番、バーコードの登録はできません。

語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

1 「とっきょしゅつ」を入力し、 変換 スペース を押す



辞書登録した語句が変換候補として表示されます。

2 「特許出願書」になっている状態で、 選択 改行 を押す



「特許出願書」が確定されます。

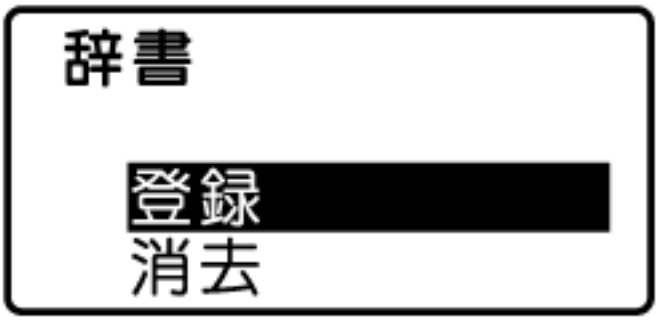
辞書の語句を修正する

例:「読み」の「とっきょしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

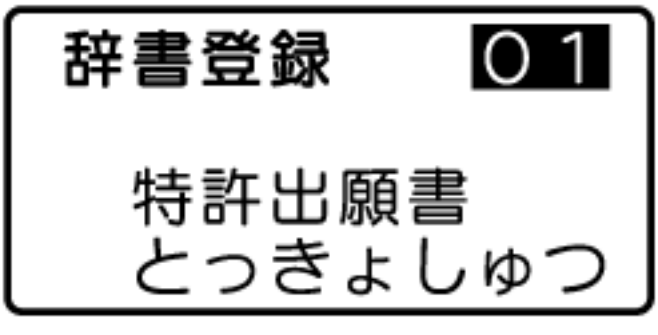
1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「辞書」を選び、 選択改行 を押す

3 「登録」を選び、 選択改行 を押す

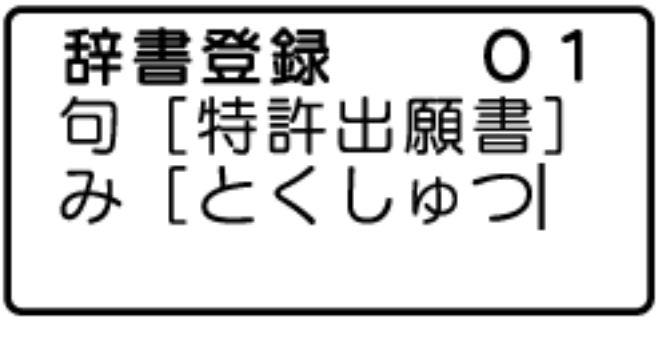


4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



登録した語句が表示されます。

5 内容を修正し、 選択改行 を押す



修正した辞書が登録されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

辞書の語句を消去する

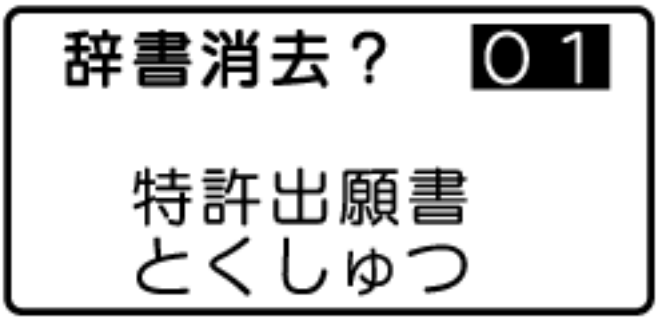
1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「辞書」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。
辞書が消去されます。

注意

・消去した辞書の語句は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

2桁数字を使う

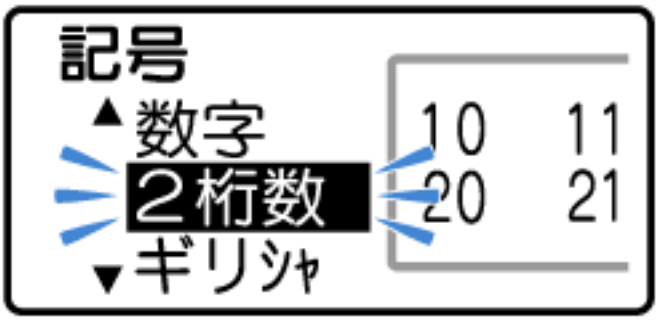
2桁数字を入力する

2桁の数字を1文字分として作成することができます。
例:23を入力する

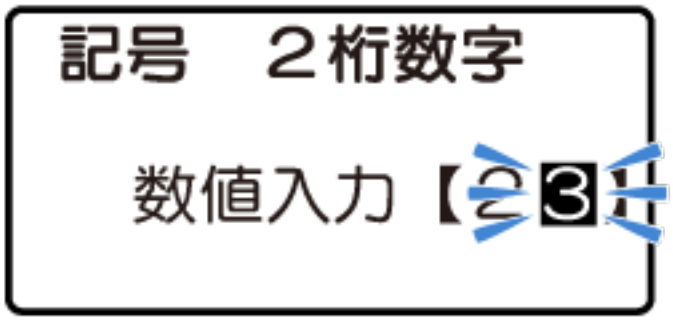
1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「2桁数」を選び、 選択 改行 を押す



3 「2」「3」を入力し、 選択 改行 を押す



2桁数字が挿入され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字、点滅文字があるときは、記号 で2桁数字は入力できません。
・2桁の数字は、テキスト画面で数字キーを2つ入力した後、変換 スペース を押して表示されるATOK変換画面から選択して、入力することもできます。

外字について

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。
外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。
・外字2つに分けて登録(文字間「ふつう」)



・文字間「密着」



MEMO

・外字は4文字まで登録できます。
・本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

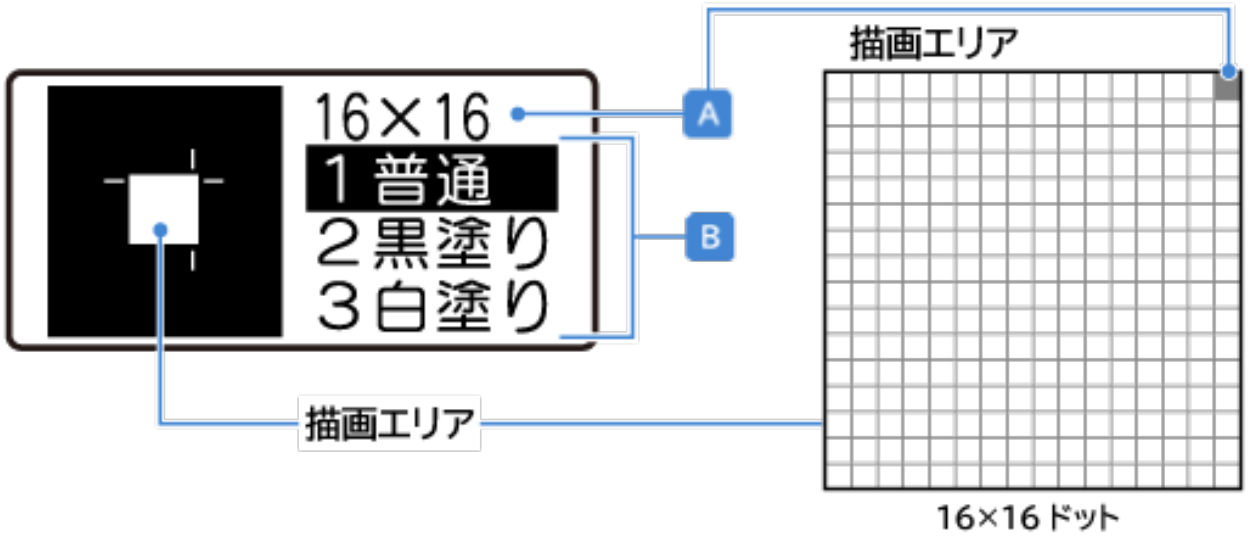
画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

■画面表示(例:16ドット)

A :カーソル位置(水平方向×垂直方向)

B :メニュー表示エリア



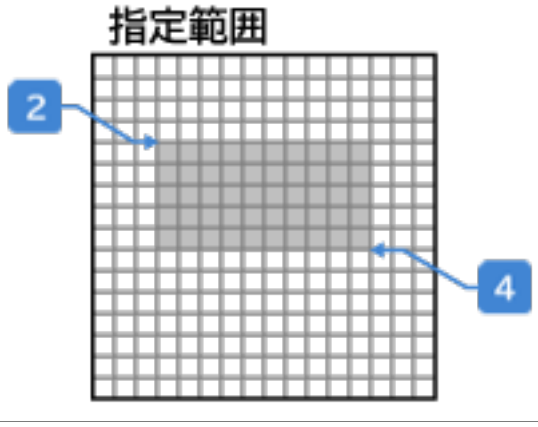
■描画方法(メニュー表示エリアで選択)

描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン 1 / 2 / 3 で選択します。

・「普通」の場合

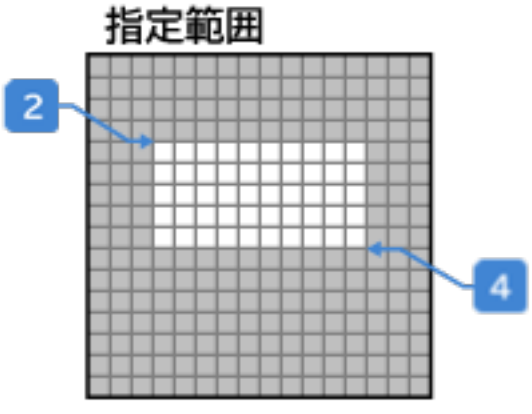
描画方法	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす
手順	1 1 を押す。 メニュー「1普通」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。 3 シフト を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。

・「黒塗り」の場合

描画方法	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 
手順	1 2 を押す。 メニュー「2黒塗り」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 3 シフト を押す。

	4 ← ↑ ↓ → で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 5 シフト を押す。 手順 2 と 4 で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。

・「白塗り」の場合

描画方法	広い範囲のブロックを白くする（消す） 
手順	1 3 を押す。 メニュー「3白塗り」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 3 シフト を押す。 4 ← ↑ ↓ → で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 5 シフト を押す。 手順 2 と 4 で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

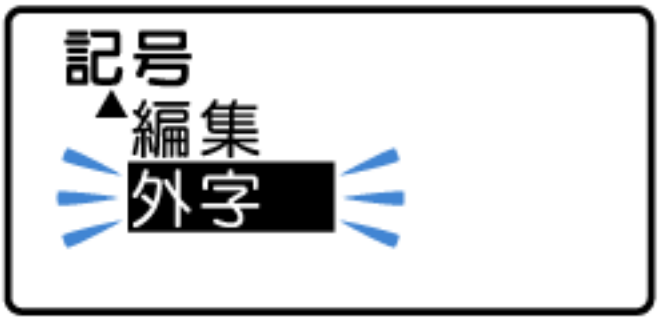
外字を作成し、登録する

例:外字番号「2」に「 」を登録する

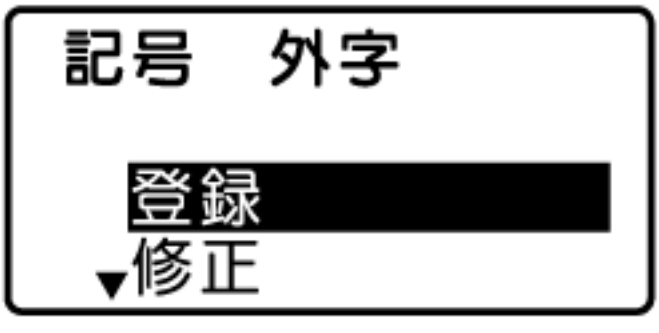
1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

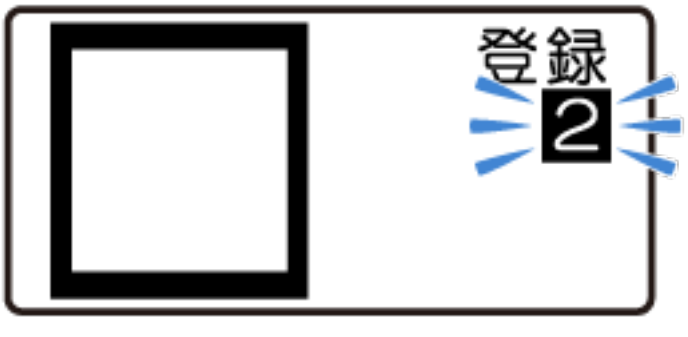
2 「外字」を選び、 選択 改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 16ドットのデータを描画する



シフト と ← ↑ ↓ → で描画します。

参照 「外字について」−「画面表示と描画方法」

6 16ドットの描画が終わったら、 選択 改行 を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

7 24・32・48ドットのデータを補正する



手順 5 と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。 選択 改行 を押すと、次のサイズの描画に移ります。

注意

・24～48ドットすべてのデータを補正しないと、きれいに印刷されません。

8 48ドットの描画が終わったら、 選択 改行 を押す

「外字登録完了」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、 削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

注意

・外字作成中にUSBケーブルを挿入すると、作成中の外字は削除され、パソコンリンク状態になります。
・外字作成中にテープを交換すると、作成中の外字は削除されます。

外字を修正する

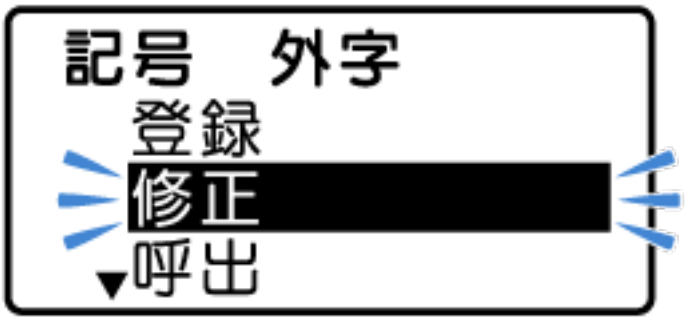
例:外字番号「2」の48ドットデータを修正する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択改行 を押す

3 「修正」を選び、 選択改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

5 48ドットの描画画面が表示されるまで 選択改行 を押す



6 48ドットのデータを修正する

参照 ☞「外字について」−「画面表示と描画方法」

7 選択 改行 を押す

外字が修正されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

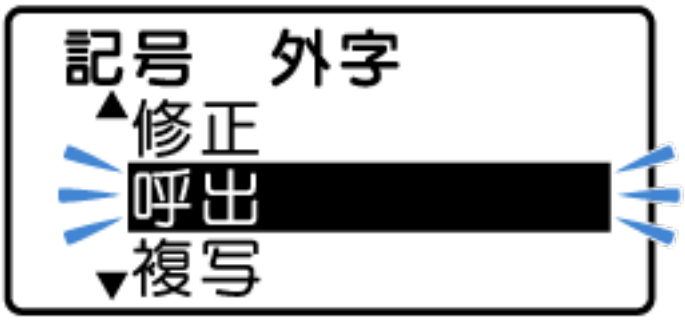
外字を呼び出す

1 記号 を押す

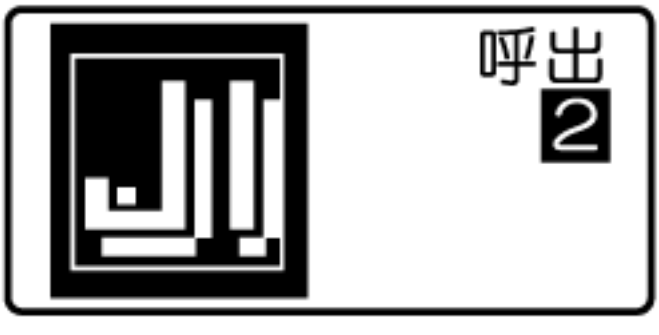
「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択改行 を押す

3 「呼出」を選び、 選択改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

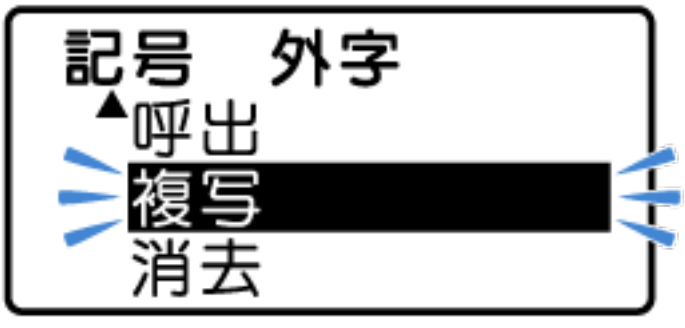
外字を複写する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択改行 を押す

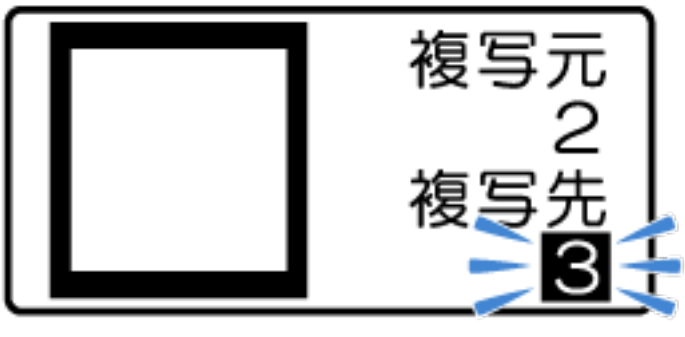
3 「複写」を選び、 選択改行 を押す



4 ↑ ↓ で複写元の番号を選び、 選択改行 を押す



5 ↑ ↓ で複写先の番号を選び、 選択改行 を押す



6 内容を確認し、 選択改行 を押す



外字が複写されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

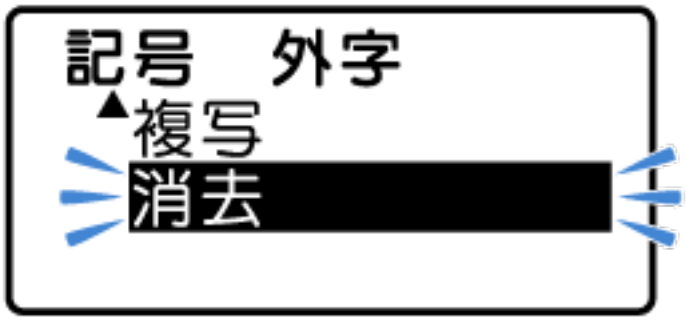
外字を消去する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ▲ ▼ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



外字が消去されます。

注意

・消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

MEMO

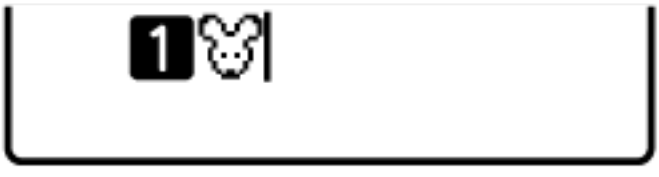
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。
・参照登録
テキストの文字(記号)を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字(記号)を自動拡大(24→32→48ドット)しながら外字を作成します。
・参照修正
テキストの文字(記号)を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字(記号)を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字(記号)を入力しておきます。
例:「絵文字」の「生き物」の「 」にヒゲをつけて「 」にする

1 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



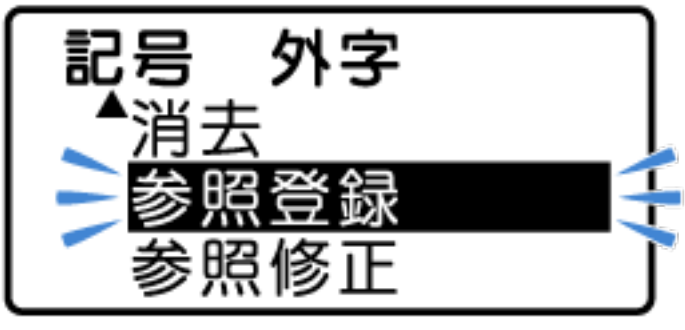
MEMO

・編集記号、半角スペース、外字、イラスト、連番、バーコードは参照できません。
・参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

2 記号 を押す
「記号」メニューが表示されます。

3 「外字」を選び、 選択改行 を押す

4 「参照登録」または「参照修正」を選び、 選択改行 を押す



5 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



6 データを修正する



参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照 ☞「外字について」−「画面表示と描画方法」

7 16ドットの描画が終わったら、 選択改行 を押す

自動的に拡大作成されます。

8 24・32・48ドットのデータを補正する

選択改行 を押すと、次のサイズの描画に移ります。

9 48ドットの描画が終わったら、 選択改行 を押す

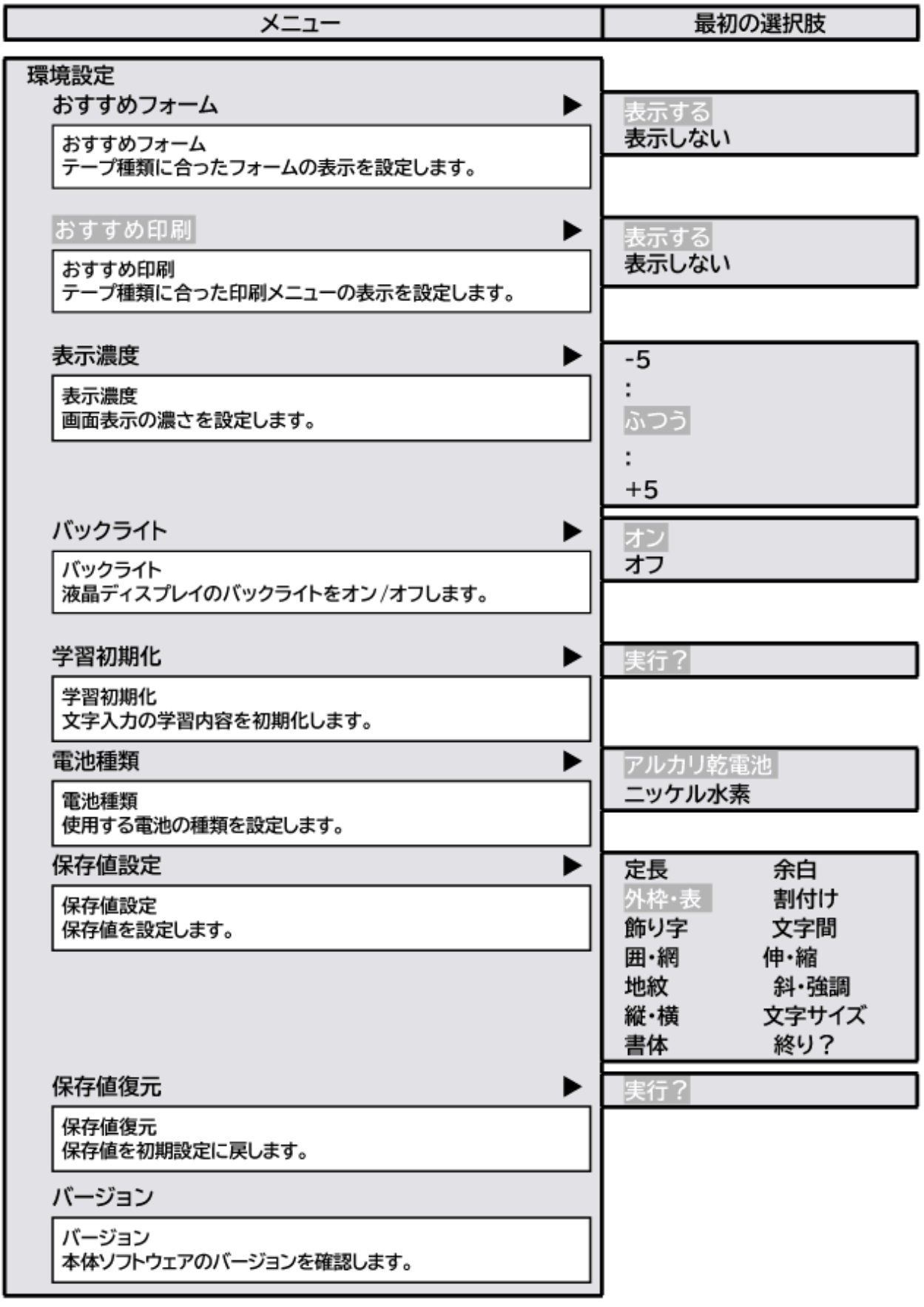
「参照登録完了」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

環境設定メニュー一覧

シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます
(は購入時の初期設定値です)。


メニュー
最初の選択肢
環境設定
おすすめフォーム
おすすめフォーム
テープ種類に合ったフォームの表示を設定します。
表示する
表示しない
おすすめ印刷
おすすめ印刷
テープ種類に合った印刷メニューの表示を設定します。
表示する
表示しない
表示濃度
表示濃度
画面表示の濃さを設定します。
-5
:
ふつう
:
+5
バックライト
バックライト
液晶ディスプレイのバックライトをオン/オフします。
オン
オフ
学習初期化
学習初期化
文字入力の学習内容を初期化します。
実行？
電池種類
電池種類
使用する電池の種類を設定します。
アルカリ乾電池
ニッケル水素
保存値設定
保存値設定
保存値を設定します。
定長
外枠・表
飾り字
囲・網
地紋
縦・横
書体
余白
割付け
文字間
伸・縮
斜・強調
文字サイズ
終り？
保存値復元
保存値復元
保存値を初期設定に戻します。
実行？
バージョン
バージョン
本体ソフトウェアのバージョンを確認します。

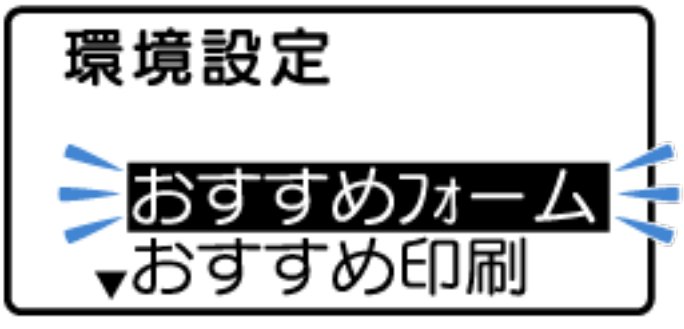
おすすめフォームを設定する

本機では、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合ったフォームを表示するか、テキスト画面を表示するかを選択することができます。

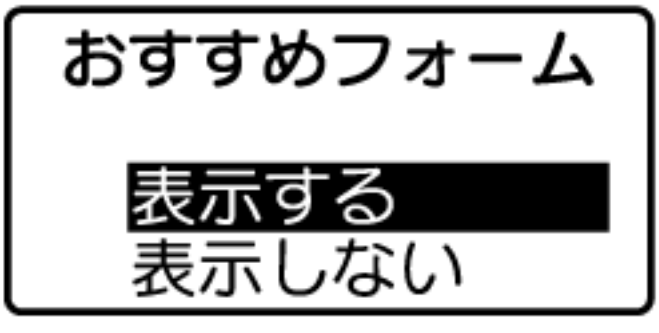
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「おすすめフォーム」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で「表示する」を選び、 選択 改行 を押す



テープに合ったフォームを「表示する」に設定されます。

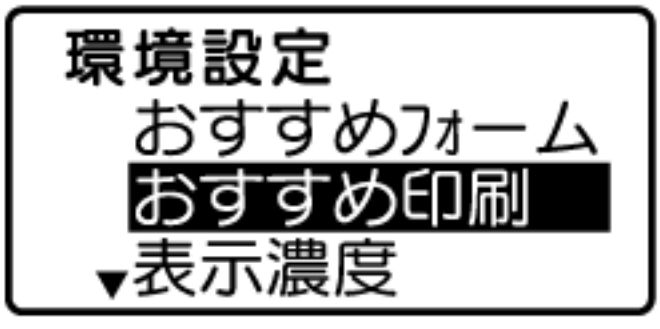
おすすめ印刷を設定する

本機では、印刷 を押したときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合った専用の印刷メニューを表示するか、通常の印刷をおこなうかを選択することができます。

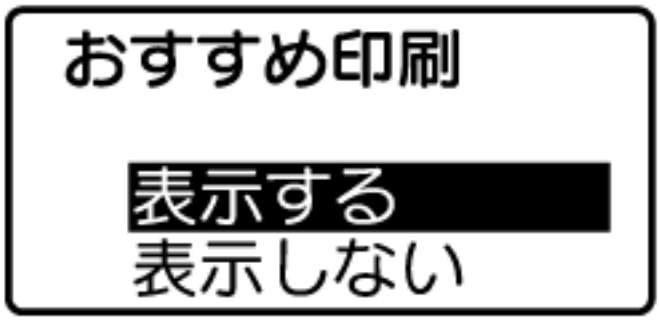
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「おすすめ印刷」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で「表示する」を選び、 選択 改行 を押す



テープに合った専用の印刷メニューを「表示する」に設定されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。
・おすすめフォームとおすすめ印刷の設定値は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 ☞「本機を初期化する」

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～＋5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

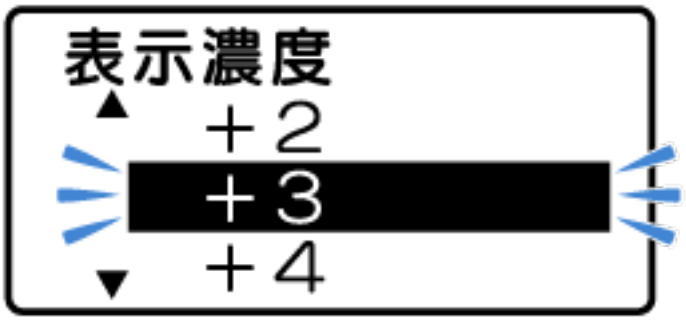
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「表示濃度」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で濃度を調整し、 選択 改行 を押す



初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

・表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 ☞「本機を初期化する」

バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトはオン/オフできます。バックライトをオンにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、オフにすると電池を節約できます。

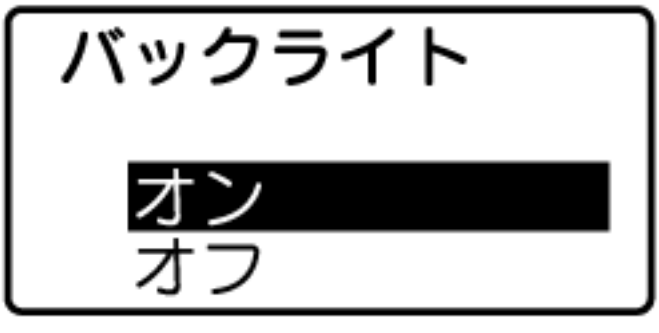
1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「バックライト」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ でオン/オフを選び、 選択 改行 を押す



初期設定値は「オン」に設定されています。

バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

・バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

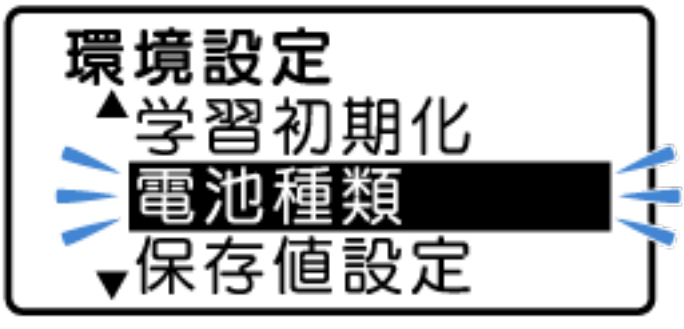
参照 ☞「本機を初期化する」

電池種類を設定する

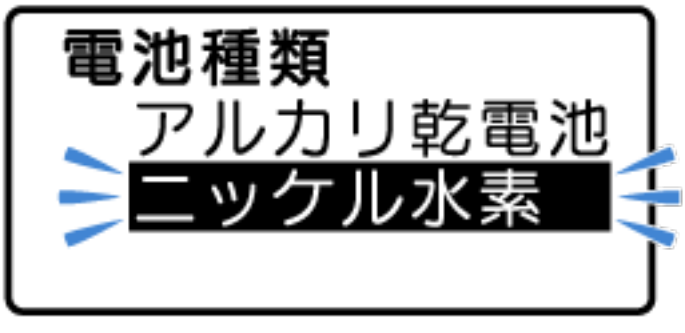
本機では単3形アルカリ乾電池のほかに、充電式ニッケル水素電池(単3形)もご使用いただけます。
充電式ニッケル水素電池(単3形)をご使用になる際には電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。

1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 ▲ ▼ で「電池種類」を選び、 選択 改行 を押す



3 ▲ ▼ で「ニッケル水素」を選び、 選択 改行 を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。
電池種類が設定されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
・電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 ☞「本機を初期化する」

注意

・電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
参照 ☞「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」

本体ソフトウェアのバージョンを確認する

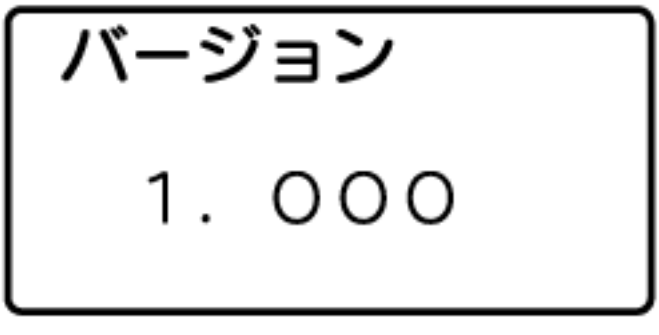
本体ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 ▲ ▼ で「バージョン」を選び、 選択 改行 を押す



3 バージョンを確認する



注意

・本機ではテープの種類を正しく認識するために、本体ソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。
https://kingjim.jp/tepra-update/

編集ボタンで指定できる機能

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では 編集 を使って、次のような機能を指定することができます。

ボタン	指定できる機能
編集	定長、余白、外枠・表、割付け、飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、地紋、斜・強調、縦・横、文字サイズ、書体

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに 編集 で変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常(全文消去直後)は「たて書き」のラベルになります。
なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

・各機能の初期設定値については、下記ページを参照してください。
参照 ☞「編集メニュー一覧」
・編集 で指定した内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
・ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。
・「余白」の初期設定値は、挿入しているテープ種類によって異なります。
 ・識別シールなしの場合:「極少」
 ・識別シールありの場合:「やや少なめ」
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」−「テープカートリッジのご注意」

注意

・保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照 ☞「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

1 シフト を押しながら 削除取消 （＝全消去）を押し、全文消去をおこなう

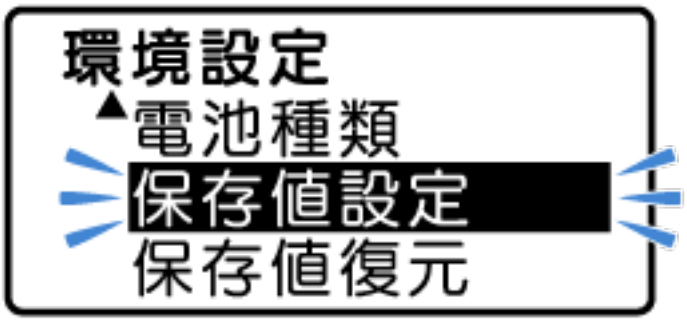
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 ☞「すべての文章を消去する」

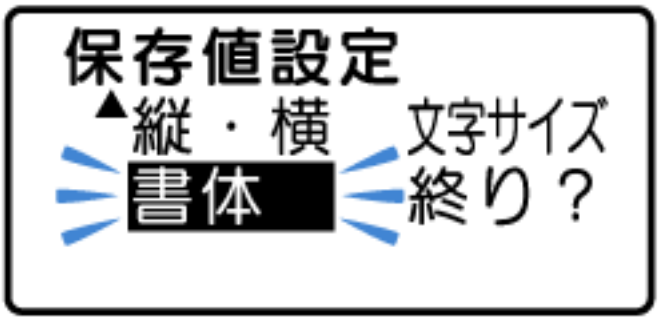
2 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

3 「保存値設定」を選び、 選択改行 を押す



4 変更したい項目を選び、 選択改行 を押す



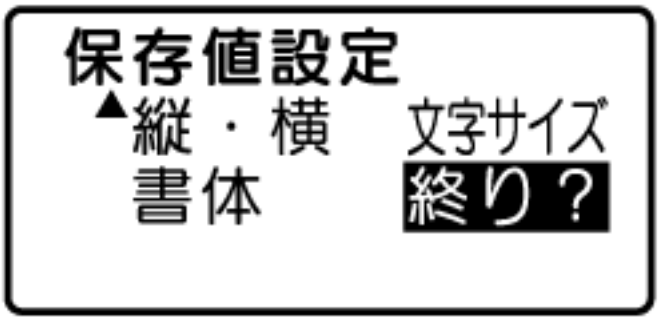
5 保存値に設定したい選択肢を選び、 選択改行 を押す



各項目の設定方法は、通常の編集機能と同じです。

参照 ☞「ラベルの見栄えをよくする（編集）」

6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終り？」を選び、 選択 改行 を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 手順 3 で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

本機を初期化する

初期化とは

注意

・本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
・不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
・初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容＼機能		初期化	学習初期化	保存値復元	全文消去	ビジネスフォームでの全文消去	電源OFF
入力	テキスト画面の文章	●	−	−※1	●	−	−
	コピーした内容	−	−	−	−	−	●
	地紋データ	●	−	−	−	−	−
	ビジネスフォームの文章	●	−	−	−	●	−
	入力状態と小文字ロック	●	−	−	−	−	−
	「みえ²」の設定	●	−	−	−	−	−
データ	ファイルデータ	●	−	−	−	−	−
	あて名データ	●	−	−	−	−	−
	名前データ	●	−	−	−	−	−
	辞書データ	●	−	−	−	−	−
	学習データ	●	●	−	−	−	−
	外字データ	●	−	−	−	−	−
	印刷履歴	●	−	−	−	−	−
設定	「ハーフカット連続」の設定値	●	−	−	−	−	−
	おすすめフォームの設定値	●	−	−	−	−	−
	おすすめ印刷の設定値	●	−	−	−	−	−
	バックライトの設定値	●	−	−	−	−	−
	表示濃度の設定値	●	−	−	−	−	−
	各種の保存値	●	−	●	−	−	−

●：ご購入時の状態に戻ります。
−：保持されます。
※1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

MEMO

・「ピッとコード」で印刷されるコードは、初期化をおこなっても、初期設定値に戻すことはできません。
・印刷濃度の設定値、自動カットの設定値は、電源を入れるたびに初期設定値の「おまかせ」に戻ります。
参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

初期化する

1 ON/OFF を押して電源を切る

注意

・ON/OFF を押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度 ON/OFF を押して電源を入れます。
以降は手順 1 からの操作で初期化してください。

2 選択/改行 と 削除/取消 を押しながら ON/OFF を押す



「本体を初期化しますか？」が点滅します。

注意

・初期化をやめるときは 選択/改行 以外のボタンを押してください。
・本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

3 選択/改行 を押す

「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

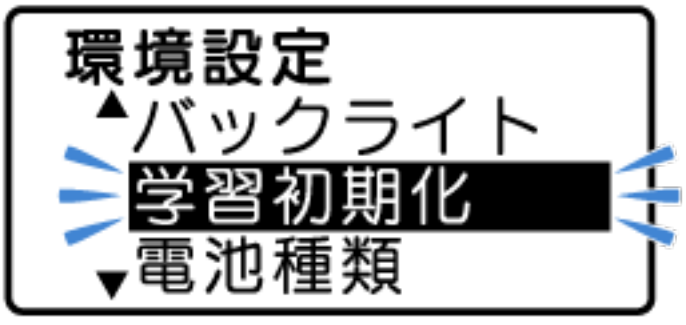
参考：学習内容を初期化する

文字入力のときの予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

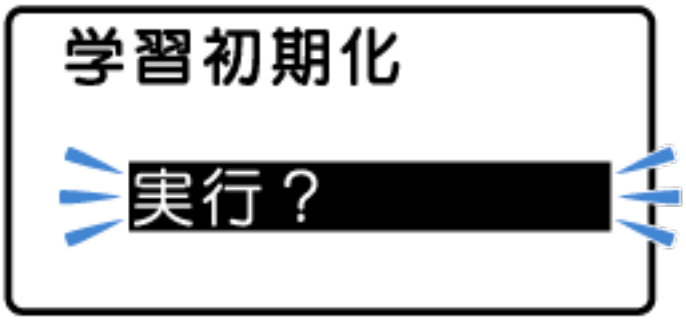
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「学習初期化」を選び、 選択 改行 を押す



3 選択 改行 を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは「学習初期化」では初期化されません。

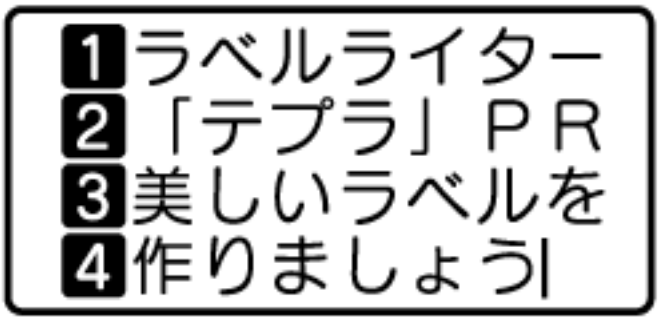
表示の切り換え(みえ^2)

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。
シフト を押しながら プレビュー (＝みえ^2)を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。

・<みえ^2>(初期設定値)
入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



・<みえ^0>
入力した文章のみ4行表示されます。多行入力時などに便利です。



注意

・シフト を押しながら プレビュー (＝みえ^2)で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
参照 ☞「テキスト画面の見かた」
・広い幅のテープセット時やテキストによっては、「みえ^2」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

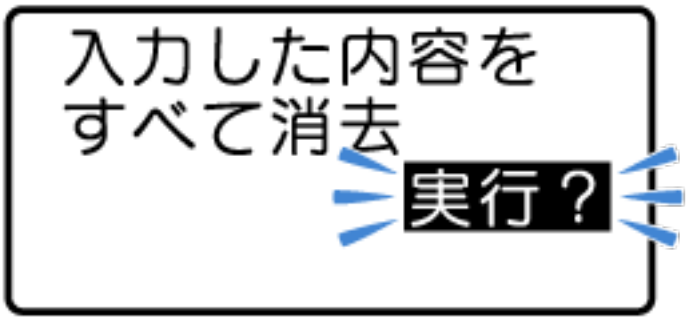
・プレビュー を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照 ☞「プレビュー機能を使う」
・ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照 ☞「ディスプレイの濃度を調整する」

デモ印刷をする

デモ印刷して本機の状態を確認する

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

1 シフト を押しながら 削除 取消 (＝全消去)を押し、全文消去をおこなう



注意

・デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。
参照 ☞「すべての文章を消去する」

2 「demo」と入力する



参照 ☞「英字を入力する」

3 シフト を押しながら 変換 スペース を押す

デモ印刷がおこなわれます。

注意

・4mm幅テープではデモ印刷できません。
・ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞「アフターサービスについて」

MEMO

・印刷を途中でやめるときは、削除 取消 を押します。

・デモ印刷の印刷内容は、テープ幅により異なります。

見本

6mm 幅テープ



18mm 幅テープ



2026年11月 第1版